

第17期 スマート・クルーズ・アカデミー 2019年第2弾



3泊4日 「Celebrityミレニアム」
9/24-27 広島発舞鶴着

大阪大学国際公共政策研究科赤井研究室・クルーズ活性化会議ジョイントクルーズ体験企画



| | | |
|----------------|--------------|---------------|
| 全長: 294m | 乗客定員: 2,158名 | 船籍: マルタ |
| 全幅: 32m | 乗組員数: 999名 | デッキ: 12層 |
| 総トン数: 91,000トン | 就航年: 2000年 | 巡航速度: 24.0ノット |

スマート・クルーズ・アカデミーの趣旨

★学生の論理的思考向上の場

船上でしか味わえない、見渡す限り何も無く、それぞれが集中してやりたいことに打ち込める洋上の素晴らしい環境で、国際関係や地域発展についての社会課題について議論し、船内、寄港地にて国際感覚のより一段の向上を図る。

★クルーズ振興に向けた新たなマーケットニーズ構築の場

大学生がクルーズを体験し、若い世代からの視点で、将来のクルーズマーケットを熟成する。体験を踏まえて、日本の港湾戦略、寄港地の分析、日本の観光のあり方を議論し、自由に事業・政策提案する。

スケジュール

| 日 | 月日 | 寄港地 | 入港 | 出港 | 食事 | 宿泊 |
|---|----------|-----------------|-------|-------|-----|------------|
| 1 | 9/22 (日) | 横浜 (大さん橋) | | 17:00 | 🍴 | 船中泊 |
| 2 | 9/23 (月) | 終日クルーズ | | | 🍴🍴🍴 | 船中泊 |
| 3 | 9/24 (火) | 広島 | 8:00 | 17:00 | 🍴🍴🍴 | 船中泊 |
| 4 | 9/25 (水) | 関門海峡クルーズ 北九州 | 10:00 | 22:00 | 🍴🍴🍴 | 船中泊 |
| 5 | 9/26 (木) | 釜山 [韓国] | 07:00 | 14:00 | 🍴🍴🍴 | 船中泊 |
| 6 | 9/27 (金) | 舞鶴 (京都) | 10:30 | 23:00 | 🍴🍴🍴 | 船中泊 |
| 7 | 9/28 (土) | 金沢 | 8:00 | 17:00 | 🍴🍴🍴 | 船中泊 Top |

アカデミー
実施区間

目次

| | |
|---|----|
| "申し込み後や乗船日前夜に何を考えたか(期待や不安など)..... | 3 |
| "乗船前、クルーズ客船が目に見えたとき、岸壁で眺めたときの率直な感想(規模・スケールなど)..... | 6 |
| "避難訓練と安全対策への感想..... | 8 |
| "クルーズ船としての船内施設(ハード面)全体の感想(船内施設・施設のレイアウトなど)..... | 10 |
| "船内サービス(ソフト)の感想(①「レストラン・カフェ・バー・ルームサービスでのメニューについて、て」、 ②「レストラン・カフェ・バー・ルームサービスでのサービスについて」、③「キャビン清掃、ホテルレセプ ションについて」、④「カジノについて」..... | 13 |
| "船内の SHOW やエンターテイメントの感想(船内鑑賞イベント全般、プロダクションショー)..... | 17 |
| "船内の施設での体験に関する感想(ジム・ゲームなど)や体験型イベント(ダンス PARTY・ビンゴなど)の感想 | 20 |
| "乗船港(横浜)での感想(港・ターミナルの施設評価、乗船時対応の感想、観光地としての魅力など)(横浜乗 船者のみ)..... | 23 |
| "広島港での感想(港・ターミナルの施設評価、乗船時・寄港時対応の感想、観光地としての魅力など)(北九 州乗船者を除く)"..... | 25 |
| "北九州(ひびき)港での感想(港・ターミナルの施設評価、乗船時・寄港時対応の感想、観光地としての魅力など) | 28 |
| "釜山港での感想(港・ターミナルの施設評価、寄港時対応の感想、観光地としての魅力など)"..... | 31 |
| "舞鶴港での感想(港・ターミナルの施設評価、下船時・寄港時対応の感想、観光地としての魅力など)"..... | 34 |
| "金沢港での感想(港・ターミナルの施設評価、下船時・寄港時対応の感想、観光地としての魅力など)(舞鶴港 下船者を除く)"..... | 38 |
| "その他の港(秋田、青森)での感想(港・ターミナルの施設評価、寄港時対応の感想、観光地としての魅力など)" | 40 |
| "池田先生のプレゼンを聞いての感想"..... | 41 |
| "クルーズ活性化会議プレゼン・パネル討論を聞いて(参加して)の感想"..... | 44 |
| "スマートクルーズアカデミー企画全般について【自治体関係者との交流、バスケットボール、勝手にフォー マルナイト、交流会)など】についての感想と今後の要望"..... | 47 |
| "地域活性化のためのクルーズ客船誘致と港湾の役割(港湾関係者の発表や船内での関係者との議論を踏まえ て)についての感想(国・自治体政策のあり方など)"..... | 49 |
| "クルーズの社会的意義とクルーズ振興の在り方(ニーズの掘り起こしにむけての若い世代からの視点)"..... | 52 |
| "クルーズ全般への感想(失敗談なども)、将来に向けての感想、上記の項目に該当しなかった部分への感想など | 56 |

"申し込み後や乗船日前夜に何を考えたか(期待や不安など)"

1. ミレニアムは、ほぼ20年前に乗船したことがあるが、当時と比べ、船内は大きく変わっているようで、たのしみである。今回は、7泊8日で乗船する予定であり、ゆつくりと船内や寄港地を楽しめる。また、学生はほとんど参加できなかったが、民間や自治体の参加者が多く、船内でいろいろな交流が出来そうだ。
2. 前回はできなかった(しなかった)ことを今回はやってみよう。(ジムのことです)
3. セレブリティミレニアムは初めての乗船であったため、どんなお料理が出てくるのか、アクティビティやショーはどのようなものなのか、船内の雰囲気など楽しみ。しかし、プレミアム船なので、船内での服装など、用意したものでいいのだろうか…とやや心配。
4. 食事のクオリティの高さを聞いているので、楽しみ。でもきっと食べ過ぎになるから！今回はジムで走るためにランニングシューズも持って行こう！これまで最長の6泊のクルーズ、いい気分転換になりそう。同時に遅く高いと不評のwifi利用でうまく仕事ができるか不安。
5. 初めてのプレミアム船なので、乗客層は違うのだろうか。原則日本人貸し切りと聞いていたので、船内が日本ナイズドされすぎていないか。異国感は味わえるのだろうか。
6. 今までよりも長期間船上で生活するが、途中で飽きてしまわないか心配である。明日以降台風がやってくるが、船が揺れないか、船酔いしないか心配である。前回乗った船はカジュアル船であったため、プレミアム船とどれほど違うのだろうか。今年改築したばかりであるから部屋や船内を見るのが楽しみである。
7. 前日になりようやく荷物を準備。普段の旅行と同じよう準備して当日を迎えようと考えた。気軽に乗れないと…と意気込んでいたが、旅行会社から案内のあった事前オンラインチェックインをしていないことなど不安だらけで過ごす。
8. 正直、乗船前日まで仕事のことや船内での過ごし方(退屈だろうな、という思い)等を考えると、乗船はあまり気が進まなかった。寄港地もどこも大きく変わらないだろうとの先入観もあった。一方でせっかく乗船するのだから、食事やイベント等をいかに楽しむか、ということも考えた。
9. 乗船体験そのものには船内や寄港地での視察などに楽しみを感じました。・平日も含む工程で普段の仕事が停滞することに不安を感じました。・情報通信がしにくくなることにも不安を感じました。
10. 船上で作られた食事をとることは初めてであったため、期待と不安があった。・せっかく乗船する機会を得たため、非日常的な体験をたくさんしようと考えていた。・服装(特にスマートカジュアル)については、不安があった。
11. セレブリティ・ミレニアムは海外船籍だと聞いていたので、海外のお客様が大多数を占めているのではないかと考えていた。(海外のお客が多いから気が萎えるとかではないが)また、船員さんも訛り英語の方が多くインターネットで検索していたので、上手く通じ合えるか少し不安であった。
12. 洋上から港へ入港する際のバルコニーからの景色の素晴らしさや、船内施設の豪華さ、読書など贅沢な時間の過ごし方に期待している。不安面では、細かい話だが、乗船当日に羽田空港から北九州空港へ向かう予定で、空港から北九州ひびきコンテナターミナルへの行く手段や所要時間が分かりにくい。パンフレットにシャトルバスは走っていると書いてあるが、時間や頻度、地図の記載がなく、問い合わせ先の

記載も無いようなのでタクシーで行くしかないかと思っている。

13. 全く初めての事であり、申込み後もクルーズ旅行への具体イメージが沸かず期待感も特に醸成されい状況にあった。また、仕事の一環での乗船でもあったため、旅行終了後の社内報告などの取りまとめなどの仕事に関する課題感の方が先にたち、期待感が高まらない要因になってしまった。
14. 長い期間職場を空けることになってしまうため、そのことばかりををを考えてしまう。また、持ち物も不安であったため、赤井先生から事前に送られていた「旅のしおり」や船会社から郵送されてきたパンフレットを入念に目を通した。事務局として動く必要があったことから、名簿の整理などでてんてこまい。
15. 今回は、日本の寄港地が多く、また団体での視察もあったため、寄港先での行動で困ることは無いだろうと思っていた。主に考えていたのは、やはり船内での時間の過ごし方で、どの程度のアクティビティーが快適に利用できるだろうかという期待と、英語がそれほど得意でないので、クルー等とのコミュニケーションで苦労しないかという点が懸念だった。
16. クルーズガイドを読み込み船内での過ごし方を想像したり、寄港地での観光地やグルメ情報を調べるなどして出発への期待が膨らんだ。一方クルーが外国人ということで、意思疎通が図れるか不安であった。また、シーパスカードなど初めて触れるクルーズ独自の制度(ルール)についても想像がつかずに不安があった。
17. このような機会がなければなかなか体験できない経験をさせてもらえてありがたいと感じた。この機会に、クルーズ船の魅力、各寄港地の港湾施設、おもてなし、安全対策等、参考になる点を持ち帰り、今後の業務に役立てられるような研修にしたい。
18. 船内でどのような生活を送るかについては、よく分かっていなかったもので、持ち込む荷物がこれでよいのかなどの点で不安があった。また、船内は外国と同様になるので、日本製の家電製品が使えないのではないか、アメニティが日本のホテルとは違うのではないかと思っている。
19. 英語が話せず船員とうまくコミュニケーションがとれないこと、また、パンフレット等で色々なルールを勉強してもイメージがわからなかったことから、船内生活をトラブルなく送れるかどうかの不安が大きかった。一方で、クルーズ船の旅や各寄港地の取組み等を学び・楽しむためのせっかくの機会であり、乗船する三泊四日を十分に満喫するようにしたいという期待もあった。
20. 乗船前には服装の準備が大変である。というも、スマートカジュアルの指定とは聞いていたが、せっかくクルーズに乗船するのだからおしゃれも楽しみたいからである。料理についても通常のレストランはなんとなくわかるが、特別レストランに行く機会があればぜひ体験したい。
21. 入出国を伴うクルーズ、外国客船への乗船は初めてなので、大変緊張する。寄港地も多く、色々なスケジュールも入っている。船上での生活も分からないためどのような服装を持っていくべきか、乗船日前夜というより当日の朝まで試行錯誤し、手間取った。挙句、多めに持って行ってしまい着ずのままの服もあった。オンラインチェックインを済ませておくようにと案内があったので済ませたが、完了までの入力に時間を要した。他の客船もそうなのだろうか。クルーズ客層は年配の方が多いが、皆この面倒なオンラインチェックインができていのだろうかと疑問に思う(後に、年配の方の場合は旅行社の方で済ませて

- いる場合が多いと伺った)。
22. 以前、ダイヤモンドプリンセスに乗船したが、船によってどのようなサービスに違いがあるのか気になる。また、以前の乗船時には自由行動できる時間がほとんど無かったため、今回は時間があれば船内のアクティビティなどを楽しめればと思う。
 23. 揺れは大丈夫かな
 24. 通常は、陸側から乗船客を迎える立場であったが、今回は乗船客側としてクルーズを実際に体験できる良い機会だと思った。前夜に不安に感じたことは、台風が来た後の乗船であった為、船が大きく揺れないか不安であった。
 25. 回答無し
 26. 昨年の研修クルーズから知識量も増えた状態で乗船して、クルーズ船の乗客は船内サービスや港での対応をどう感じるか考えてみたいと思った。また、プレミアム船での1週間以上のクルーズがどのようなものか経験してみたいと思った。
 27. (寄港地で受入れを行う立場のため) 台風の影響がどの程度あるのかが気になる。クルーズ船に乗船するのは初めてだが、業務で乗船するため、どうしても仕事のことが気になる。
 28. 長期間でもあり、船内での過ごし方(ショーなどの催し物)や食事への期待と共に、寄港地でのおもてなし(出迎え、お見送り)や対応に興味があった。また、特に不安はなかった。
 29. 前は舞鶴からのドライブクルーズであり、荷物の持ち運びは容易であったが、今回は大きなスーツケースを抱えて横浜まで移動することになる。大きなスーツケースを新幹線に置く場所があるのか、円滑に移動することができるか心配である。一方、前回のカジュアル船と違いラグジュアリー船であり、食事を売りにしているということで、食事のおいしさが楽しみである。
 30. 初乗船であった前は、終日航海日ばかりで寄港地観光がないクルーズだったので、今回はいろいろな土地を訪れることができる点に期待していた。また、乗船経験のある知人からセレブリティクルーズの食事はとても美味しいと聞いていたので楽しみにしていた。毎日走れるよう、ランニングシャツやパンツ・シューズを持ち込んだ。
 31. 前回乗船した際は、横浜～上海の片道クルーズであり、天候のせいもあってか、船がけっこう揺れていた印象だった。また、途中寄港のないクルーズだったので、今回はいくつもの寄港地に降り立つことができるということに期待感があり、楽しみだった。加えて、セレブリティクルーズは食事が美味しいという前評判を聞いていたので、期待していた。
 32. 申し込み手続き後からさらに乗船することに対する実感が湧いてくる。どのような部屋に泊まれるのか、どのような食事なのかなど、期待が膨らむ。せっかくのクルーズ乗船をより楽しむための事前学習にも熱が入る。クルーズ船乗船が初めてということで乗船日前夜は得たいの知れない不安に襲われる。

"乗船前、クルーズ客船が目の前に見えたとき、岸壁で眺めたときの率直な感想(規模・スケールなど)"

1. ツートンカラーに塗られた船体が輝いている。真っ白な船体が多い中、特徴的である。また、9万トンという大きさは、今の時代には、中規模であるが、船内で動くにはちょうど良いサイズである。
2. 早く食堂に行って昼食を食べたいな。とりあえず食べて、その後は何をして楽しもうかな？今回はジムをやりたいから、早めにジムを見に行ってもいいな。1週間も乗っているから、ここでジムを毎日やって、降りてからも続くくらいに習慣になるといいな。
3. これから始まるクルーズの旅にワクワク。船のデザイン、青のラインが港に映えていて、スタイリッシュな感じがする。
4. とてもおしゃれで洗練された印象。少し小さいので上品で落ち着いた感じ。
5. MSCなどと比べるとややこじんまりした印象。白と青のコントラストが特徴と聞いていたので遠目からでも分かる船の全容にわくわくした。
6. とてもカッコいい船である。青色のボディーがとてもきれい。船のてっぺんに書いてある「X」の文字が船のアイデンティティを表しているように感じる。船の大きさの第一印象はそこまで大きくないなと感じる。前回乗った船が4,000人規模の船だったからかもしれない。大きさの印象としてはダイヤモンドプリンセスと同程度と感じた。
7. 修学旅行の前日のように、早起きして朝食も早々に、車で向かう。岸壁に到着するまえからセレブリティ「X(エックス)」のマークが見えたが、実際目の前にすると圧倒的なスケールの大きさにびっくり。大きすぎて、写真一枚におさまらない。白と紺のツートンが上品で想像以上。
8. これまで乗船はしたことがなかったが、仕事上、クルーズ客船を目の当たりにすることはあったが、改めてその大きさを感じた。感覚的には横長のマンションのような感じ。また、横浜港から乗船したが、客船と背後の海・まちと一体的な景観を施しており、より客船が見映えした。
9. "乗船経験はありませんでしたが、岸壁上での調査等でクルーズ船を間近に仰ぐ経験は多いので驚きはありませんでしたが、自分が乗船する船となると感慨深く、とても期待感が高まりました。
(ア) 発着港などで、船食品、船用品、旅客手荷物等の荷役を間近で見ることができ、日本の港での取り扱いを増やす取り組みが必要だと再確認しました(給油も含め釜山での荷役が多かった)。"
10. "以前レンガ倉庫周辺から大棧橋にクルーズ船が係留しているところを見た経験はあったが、それとは比較できない程スケールの大きさを感じた。大棧橋を進んでいくにつれて、どんどん大きくなるクルーズ船を見て、実際に乗船することを考えると気分が高まった。"
11. セレブリティクルーズのHPなどを何度か拝見し、セレブリティ・ミレニアムのイメージを膨らませていたが、横浜大さん橋で実際に間近に見てみるとゴージャス感、存在感、優越感に圧倒されたのと同時に、今から一週間この船に乗ることができる喜びをかみしめていました。
12. 岸壁から見たのは初めてだがスケールには圧倒される。タワーマンションや高層ビルを海の上で横倒しにするとこんな感じか。横浜大さん橋で何度か見たコスタ船と同じぐらいに思えたが、見る位置がかなり近いので迫

力がある。これから初めて中に入れると思うとワクワクしてきた。

13. 五日市港でクルーズ船を目の当たりにした際に、一気に乗船への期待感と実感が湧いてきた。クルーズ船のスケールについては、これまで、博多港の岸壁で最大級クラスのクルーズ船を眺望したこともあったことから、特別大きいとは感じ得なかった。
14. 横浜港に着岸する客船の中ではそれほど大きいサイズではないが、やはり大きい。また、管理側／受入以外で客船を眺めることはまれなため、CIQ 体制やチェックイン体制など様々なところが気になり、キョロキョロと不審な感じ。
15. 普段から地元の港に寄港するクルーズ船を見ているので、その大きさやスケール感に驚きを持って圧倒されることはなかったが、いつも感じる印象として「やはり大きいな」というのは感じた。また、改修された後というもあり、船体の美しさには目を見張った。岸壁に行く前に山下公園から眺めていたが、遠目にもきれいな船だなと思った。
16. まずは、とにかくその巨大さに圧倒された。また、業務で何度かクルーズ船を見る機会があったが、業務で見るのと、これから自分がその船に乗り込むのとは、心情がまったく異なり、気分が高揚した。普段は上屋や荷役岸壁に着岸しているところしか見ていないが、横浜港における立派なターミナルや周辺の景観等との相乗効果で、よりクルーズへの期待感が膨らんだ。
17. 業務で様々な種類のクルーズ船は見てきていたが、セレブリティ・ミレニアムもやはり大きく感じた。
18. 過去に 16 万t級の船も見たことがあるが、9万tでも予想よりもかなり大きい船だと感じる。これから数日間をこの船の中で過ごすと思うととてもわくわくする。乗客・乗組員含め大人数になるため、上下船の手続きなどをはじめ、スケジュール管理や人員管理をするのが大変そうという印象を持っている。
19. クルーズ船を初めて見たが、セレブリティミレニアムクラスの船でも、想像していたよりもかなり大きくて異様な物に見えた。以前、同僚が「建物が動いているイメージ」と言っていたが、まさにそのように感じた。クルーズ船が来るというだけで地元はその対応に大慌てすると聞いていたが、あれだけの人数が大きな船でバス等に分乗して一気に押し寄せてくることを考えると仕方のないことだと感じた。
20. セレブリティミレニアムは外からは何度も見た船である。岸壁から眺めるといつも通り大きい。様々な船を見る機会があるが、セレブリティミレニアムは 2 トーンカラーがとても洗練されて見え、これからの船内生活の期待を膨らませる姿である。
21. 五日市駅から乗車したシャトルバス車窓から遠目にセレブリティのロゴマーク「X」のファンネルが見えた時は、心が弾んだ。ターミナルを有しない港で、外国客船を見ることが初めてであるので、岸壁から見ると、普段見ているセレブリティミレニアムとは全く違う船に見え、壮大な視野で客船が臨めるため自港で見るよりかなり大きく感じる。
22. 北九州からの乗船だったが、油津港にはまだ入港したことが無い船のため、初めて見るセレブリティの特徴的な X のマークが見え、胸が高鳴る。また、岸壁での出店を見て、油津港とはまた違ったおもてなしを感じ、参考にできればと思う。
23. 乗船に向けて初めてのチェックインの仕組み自体が新鮮でした。

24. 様々な客船を受け入れ側として見ている中でも、セレブリティ・ミレニアムはデザインがスタイリッシュでかっこよい客船だと毎回感じる。
25. 回答無し
26. "16万トンのクアンタム・オブ・ザ・シーズや14万トンのマジェスティック・プリンセスを受入業務で見ているので、約90,000トンのセレブリティ・ミレニアムもそこまで大きいと思わなかった。建造後約20年なので外観は古い感じだが、これまでクルーズを実施し乗客の満足を得てきているので、内装、施設、サービスがどのようなものか見てみたい。"
27. 仕事柄クルーズ船を頻繁に見ているので、船の規模やスケールに特に感想はないが、岸壁に近づいていくと、これからクルーズに出発するという高揚感やテンションの高さを周囲のクルーや乗客の雰囲気から感じ取れる。
28. クルーズ船の大きさと共に乗船客数に驚いたが、乗船手続きが比較的スムーズに行われていたように感じた。
29. JR 関内駅からスマホ地図を片手にスーツケースを転がしながら大棧橋への向かう。横浜港は寄港が多いのでシャトルは無いんだろうな。と考える。山下公園に到着すると目の前が開け、大棧橋に着岸するセレブリティ・ミレニアムが目に入る。公園にはカメラを構える市民も多数。クルーズ船と賑わいがまさにマッチしている場所と感じるとともに、地元のふ頭も同じような構図のため、いつかこの様な景色を実現できればと考える。
30. 前回乗船したMSCスプレントイダよりは小さいものの、前は大黒ふ頭からの乗船であり、初めての大きなふ頭からの乗船で見るセレブリティ・ミレニアムはやはり大きく感じ、これからの船内で過ごす時間に対し、大きな期待に胸がふくらむ。
31. 横浜の大棧橋にはじめて行ったので、ターミナルとしても洗練されていて綺麗だし、特段イベントなどをやらすとも、市民・観光客が集まっており、にぎわっている様子だったので、うらやましいと感じた。
32. とてもスケールが大きく、これからこれに乗船することを想像するとドキドキとワクワクが止まらない。前日の不安はどこへやら。事前に確認したテックプランを思い出しながら、外から見て勝手にイメージを膨らませる。実際に乗船するということで特別な愛着が湧いた。

「避難訓練と安全対策への感想

1. 途中乗船であったため、簡易なものであった。
2. 不参加でした。
3. 避難訓練は、マスターステーションを確認するといった程度の簡単なものだとの印象。今回のクルーズは、年配の方が多し。また、リピーターも多いように感じる。避難訓練では、全員に椅子が与えられていないので、立っている時間が長いと、クレームの声が聞こえてきた。あまり訓練になっておらず、ストレスにしかかかっていないようにも感じた。もう少し、訓練の緊張感もあってもいいと感じる。
4. 避難訓練はうまく統制されておらず、改善の余地ありそう。高齢者の方には長時間立たされるのは苦痛で肝心なところで集中力が切れてしまうのでは？
5. 割とあっさり終わり厳しくない。毎日乗船下船があり乗客も入れ替わるので、厳格な訓練実施は難しいのかもしれない。

れない。

6. やはり海外の船はしっかりと避難訓練を行うのだなという印象である。しかし、とても避難訓練を重要視しているというほどではない。なぜなら、他の船では自室にある救命胴衣を着て集合するということもあったが、この船では救命胴衣を持ってこいというアナウンスはない。そのため、私は救命胴衣がどこにあるか把握していない。
7. 14:00から乗船者向けに避難訓練の説明があったが昼食下船により間に合わなかった。
8. 避難訓練は行ったが、場所がわかりにくく、実際の訓練も必ずしも十分とは言えなかった。同時に自分自身もその意識が低かったように思う。もう少し強制的にでも避難訓練の大切さや安全対策について取り組んだ方が良いように感じた。
9. "・避難訓練は想像していたよりも簡易的でした。多くの乗船者がいるため、集合場所を決めたりといった内容はクルーズならではののではないかと感じました。安全対策等に不安を感じる場面はありませんでした。"
10. "・部屋によって集合場所がわかっていたため、混雑もなくスムーズに会場に入ることができた。日本語の通訳があったため、内容は問題なく理解できた。内容自体はざっくりしており、緊張感はなく、非常時に乗客が対応できるかは不安に感じた。"
11. 飛行機などでは必ず安全対策の一環として客室乗務員が映像を交えながら救命胴衣などの使用方法の説明などを行うが、クルーズ船でも同様に行うとは乗船するまで考えもしなかった。日本人が90%以上も乗船しているということもあり、日本語でも説明を行う心遣いには関心した。
12. 途中乗船したあとの旅行代理店による乗船説明会でビデオを見たがかなり簡素化された感じ。客数が多いので船会社としても手間の問題があるかもしれないが、実際に避難導線や集合場所、ライフジャケット装着方法を案内するなどもう少し改善に余地があるのかなと思う。
13. 避難訓練のアナウンスを聞き落としていたため、避難訓練には参加できなかった。安全対策面では、客室通路(廊下)の防火扉部分にあるステンレスのドア枠(5mm程度の段差)にも、足元注意の表示がされており、転倒防止などへの配慮が細やかに成されていることに感心した。
14. 簡易に済まされた印象があったが、毎回しっかりと訓練を行っていることは、当たり前のように、非常に重要と感じた。自分を含めて乗船客は熱心に耳を傾けていると感じた。日本語でしっかりたいおうしてくれており、不安を取り除いてくれた。
15. シーパスカードに集合地点を記載するなど、実際に事故が起こった場合に、各乗客がとりあえず行わなければならないアクションは分かりやすく周知がされたと思うが、実際の事故の際に、それで自分の命が守れるかという点で考えると、具体的な身を守るための行動(救命胴着の装着:今回はクルーのみがデモンストレーションで装着)は、実際に行っておく必要があるのではないかと感じた。
16. 日本語での説明もあり、間近で救命胴衣着用の実践の様子も見られたことから十分に理解することができた。しかしながら有事の際にこれだけ多くの人員が避難することを考えると、混乱が生じるのではないかと不安を覚えた。地震・火災等の避難訓練と同様で、いかに実践で生きる訓練をであるかが課題と感じた
17. 途中乗船であったため、避難訓練への参加は無かったが、避難方法の映像を見て、安全対策への意識が高いと感じた。
18. (広島より乗船したため、実施なし)
19. 避難訓練は、途中乗船のため不参加。安全対策については、特に気にすることがないくらい揺れも少なかった。しかし、今となっては、途中乗船者向けの避難訓練も実施するべきだと感じる。乗船説明会で非常口等の場所の案内はあったような気がするが、実際に確認する人は少ないように思える。また、特に乗客は高齢者が多いため、有事の際の避難は困難を極めるように感じる。

20. 乗船者説明会に参加したが、特に避難訓練等はなかった。
21. 乗船後に行われたクルーズ説明会に参加した際に、緊急避難訓練の説明を受けた。実際に救命胴衣を触ることはせず、ビデオでの説明だったため、実際に危険な非常事態が起きた場合きちんと対応できるのか、不安な部分が多いと感じた。今回同時に乗船したメンバーは、その説明会には参加されていなかったように思うので、他の皆さんはいつ避難訓練を受けたのか疑問だった。あと、船内アナウンス音量が小さいと感じた(客室内に居ると聞こえにくかった)。
22. 北九州からの乗船組は避難訓練はなく、ミキツーリストの職員による乗船案内と避難に関するビデオの上映であった。ビデオは日本語だったが、少し早口だったように感じた。緊急時のステーションが決められているが、どれだけの人が理解しているのか不安を感じた。
23. キャビン毎にラウンジに集合し、システムティックに行われていました。
24. 今回、日本語での避難訓練が行われた為、大変わかりやすかった。英語の場合でも、クルーが実践してくれる為わかりやすく安心感が持てた。その他安全対策については、セレクトリティ・ミレニアムは他船と比べてもセキュリティ(手荷物検査、カードチェック)がしっかりしていた。陸で受け入れる側としても、セキュリティが厳しいと感じていたが、乗船している側としてもしっかりしていたので安心感があつた。
25. 避難訓練は集まってからの開始・終了が分かりにくく、全員参加が必須とのことであつたが内容的には十分であるとは思えなかった。
26. 横浜乗船の職員と北九州で交代のため避難訓練はなかった。
27. 船によって実施内容が違うとのことなので、本船だけかもしれないが、内容は本格的とは言えず、この訓練をもって非常時に対応できるとは思えなかった。また、ほぼ外国人のクルーに対して乗客の殆どは日本人のため、訓練時には通訳がついたものの、緊急時にちゃんと避難誘導やコミュニケーションができるのかと気になった。
28. 事前に案内書にも掲載され、告知が幅広くされておられ、また船員に避難場所、順路などが徹底されていたためにスムーズに避難誘導が実施されたと思う。また、日本語での通訳があり、救命胴衣のつけ方などや注意事項がわかりやすかった。
29. 避難訓練に救命胴衣を持っていかなくてもよい、と言われ前回との違いを感じる。避難訓練の場所には多くの客が詰め掛けており座る場所がない。見る限り高齢者が多いと感じ、立って説明を受ける。マイクの声が小さく、話している内容がいまいち伝わってこない。乗船者カードを読み取り出欠は記録しているが、法令義務でやっている感が強い。前回乗った船は自分の救命胴衣を着けての操作方法の確認、説明に加えて映像も流していたので、安全対策への力の入れぐあいの差を感じる。
30. 前回乗船したMSCスプレんティダの避難訓練では、自分のキャビンにある救命胴衣を実際に持参しての訓練であつたが、今回はクルーの実演を見るのみだった。やはり、自分で実際にやってみる方が、より充実した安全対策と言えるのではないか。
31. 前回乗船したMSCスプレんティダの際は、実際に部屋においてあつた救命胴衣を持ってきて、その場で装着のしかたも含めて訓練を行ったが、今回はクルーが装着の実演をしているのを見ているだけだったので、簡略化されている印象を受けた。実際に自分でやってみないといざというときに装着のしかたが分からなくなるのでは、と思った。
32. 避難訓練を全員参加でしっかりと行うことには驚いたが、避難訓練自体は訓練をしていると言う感覚はなかった。クルーの方が実際に装着方法を教えてくれたため、理解しやすかった。

"クルーズ船としての船内施設(ハード面)全体の感想(船内施設・施設のレイアウトなど)

1. プレミアム船という雰囲気にあう落ち着いた内装。20年近く経っていると思わせないようにすべてが改装されている。特徴的なのは、1:中央の大きな階段、2:ジャグジーにもなっている室内プール、3:大海原を眺められる大きな窓がついたメインレストラン。4:眺めの良いトップデッキのラウンジ！いずれも、今の最新船にはあまりない贅沢な作り。
2. 通路が広いのはいいな。バルコニーも広いような気がする。エレベーターか外に面しているのは、明るくていいな。喫煙場所もちゃんとある。
3. バッフェレストラン付近にあるパブリックスペースは、ソファがたくさんある。パブリックスペースでも、ゆっくりできる。また、レストラン内も、椅子、テーブルもいくつかのデザインがあり、それぞれの空間を楽しめる施設となっている。ルーフトップテラスやサンセットバーがとても素敵。
4. "比較的わかりやすく設計されていて、迷いにくい構造。上品な内装で居心地がよかった。若い人向けのエンタテインメント施設はあまりなさそう。ジャグジーなど、夜間には早くクローズしてしまうのが残念。"
5. 外の景色が見える透明エレベーターには何度乗ってもわくわくした。百貨店などでも透明エレベーターはあるが、大自然を見るためにこの設計を考えた人は素晴らしい。
6. 船内施設はどれもきれいである。今年改装からというのは勿論のこと清掃もしっかりと行われていると感じる。施設のレイアウトについては特に行きたい場所に上手くいけないということもなくよいと思う。ただ、全ての階が一气通貫というわけではないので、とても分かりやすいというほどではない。屋上のデッキにくつろぐスペースがたくさんあり好印象である。
7. 屋上12階、11階は展望ラウンジ、ジョギングトラックとバスケットコートあり。10階は屋上吹き抜けのジャグジー・プールのほかフィットネス施設や食事ができるサンセットバーがある。9階~6階及び2~3階が客室。4~5階は、吹き抜けのレストランをはじめ、ショッピングエリア、每晚ライブやショーが開催されるシアターやカジノ、カクテルパフォーマンスが見られるバー。絵画展示されるアートギャラリーやお酒を交わしながら社交ダンスが楽しめるラウンジがある。1~2階はギャングウェイ。
8. 船内施設としてはレストラン、バー、カジノ、シアター、ジム、プール等、十分に備わっているし、いずれも高級感があり、満足のいく施設である。部屋も快適であり、空間的にも十分である。一方で、船内案内がわかりにくく、特にトイレの位置が非常にわかりにくかった。(あえてトイレのサインは設けていないのかもしれないが。)また、コインランドリーがなかったのが残念だった。さらに日本のテレビが見れば良かった。
9. "船内はとても広く、最初は自分の現在位置が分からなくなることがありましたが、乗船から数日ほどで慣れて迷うこともなくなりました。ショートクルーズでは体験できない感覚かも知れないと感じました。船内施設はどれも綺麗でとても快適でした。普段と違う上質な空間で、とても気分がよく楽しめました。"
10. "プール、ジャグジーは開放感があり、特に夜の雰囲気は心地が良かった。客室フロアは天井が低いと感じた(その分階段の上り下りは苦にならなかった)。乗船当初は船内を迷うことが多く、マップをフロアに配置するなど工夫点があるように感じた。"
11. 乗船時、グランドフォイヤーに通されましたが、船の大きさの割りにメインスペースが小さい船なんだと感じた。イメージでは階段下にダンスフロアなどがありメインイベントを行える場所だと考えていた。内装はリニューアルされたということもあり、内装は非常に綺麗であり、華やかな世界に非常に興奮した。
12. エレベータの乗降スピード設定が早く移動には大変便利。その反面、エレベーター扉の開閉スピードが速いのでお年寄りやハンディキャップのある方には不親切かもしれない。あと乗船説明会で説明を受けたが、船全体の電気容量の問題もあるのか、室内の冷蔵庫は冷蔵ではなく保冷との説明があり、船から貰った無料のシャンパンボトルを冷やしていたが無理がある。折角のお客サービスなのに効果半減で、シャンパンクーラーをルームサービスで貸してくれるのかもしれないが、外国らしい大雑把なサービスだなと思う。

13. 船内施設のレイアウトが複雑に入り組んでいることから、乗船直後には、船内移動の動線を把握できず、困難であったが、動線を意識しながら数回、周回することで把握できた。その事により、船内施設のレイアウトを意識して観察することができ、船内施設のレイアウトがとても、効率的に配置されていることが分かった。
14. 船内施設を満喫することは出来なかったが、一通り目をとおすことはできた。プールやバー、ショップなどホテルのように充実しており、豪華さを体感することができた。レストランも立派であり、少々緊張してしまうくらいであった。
15. 共用部分であるデッキ3、4、5、10、11などは、概ねの目的別にデッキが分かれており、1度配置を覚えてしまえば使いやすい動線だったと考えている。また、配置されている施設の内容にしても、現時点では明らかな過不足があることはないと思った。カード室などもどれだけ稼働しているか分からないが、もう少し時間があれば体験してみたいと思った。
16. どの施設も豪華で、非日常感が感じられた。パブリックスペースは種類別に集約されており、導線にも配慮されていると感じた。エレベーターや階段との位置関係を把握すれば、その後の移動に迷うこともなく各所への移動ができた。一部の施設へ移動する際に他の施設を通過しなければならない場合があり、通過施設が混雑しており、苦慮する場面があった。
17. 船内の施設の場所や情報は、船内新聞やテレビによる案内など、非常に分かりやすくなっている印象だった。また、船内施設も乗客に対して十分な広さがあり、混雑して席に座れないなどの状況はほとんどなかった。
18. 基本的にシンメトリーで、かつ縦長な構造になっているので、現在地をきちんと把握できていないと思わず逆の方向に行ったりということがあった。飲食できるスペース(レストラン、バーなど)のほか、レクリエーション、プールなども施設もあり、船の中だけでそれなりに楽しめる環境にあると感じた。
19. 船内の施設はさながらリゾートホテルのようであった。屋上プール周辺は特にリゾート感あふれるスペースだった。客室は思っていたより狭かったが、すっきりしているため気にならなかった。私が宿泊した客室は、船のかなり後方にあり、前方にあるプール等の施設まで行くには距離があった。特に高齢者等は移動が大変だったと感じる。
20. セレブリティミレニアムは大型船ということもあり、とても広く感じた。が、一方でその広さが船内の移動が大変な一因でもあった。いまどこにいるのかをすぐつかめるようになるには時間がかかると思う。移動は大変だったが、案内図等などのサインや、エレベーターが多く、とても便利。
21. セレブリティミレニアムの特徴であるシースルーエレベーターが印象的で、何度乗っても素敵だった。・船内が広いと、施設から部屋に戻るだけでも良い運動になると思った。迷ってなかなか目的地に辿り着けないことがあり、船内地図をよく活用した。自分がどの位置にいるのかやっと分かってきた4日目に下船となってしまった。・トイレの表示が分かりにくかったため、もう少し大きめの表示にしていただけるとありがたいと思った。・隣人の話し声が聞こえたため、客室の壁は薄いように感じた。
22. "ジムやシアターなど施設が充実している印象。ただし、シガーバーがなかったのがショックだった。実際に船内を回ってみると、各デッキに何の施設があるかの案内はあるが、どこにという情報がなく、冊子を持ち歩いていないと不便だった。"
23. 最上階のラウンジ、シアター、各種レストラン、ショップなど充実してました。研修が多く、全てのファシリティを享受する時間が余りなかったことは少し残念でした。
24. 客船の大きさとしては、1週間乗船するには狭すぎず広すぎず丁度よかった。インテリアもごちゃごちゃしておらず、すっきり落ち着いていてよかった。エントランスの近くにカフェのような場所があったらよかったなと思った。お茶をしながら翌日のオプションをゆっくり考える人も出てくるため、参加率もあがるのでは。
25. 回答無し

26. "客室は、バスルームも含めあまり広くなく、装飾も少なくシンプルなおデザインだった。屋外プールはたくさんのテッキチェアがあまり間隔を開けすぎっしりと並べられており手をかけている印象。船に備えられたバスケットコートは初めて見たがその発想に少し驚く。屋上シアターは周囲の眺めがよく、人が少なく、ソファは快適で落ち着ける。"
27. 船内はとても広々としていて、内装や設備も豪華であった。初日から 2 日目にかけて、台風の影響でかなり揺れを感じたが、それを除けば船に乗っているという感覚がなく、普通の建物内にいるような感覚だった。船内では Wifi が有料(しかも高額)で、ネットを常時使える環境が当たり前の世代にはこの点がネックとなるのではと感じた。
28. お土産は旅の楽しみの一つであり、寄港地でのお土産以外に船内ショップにおいてクルーズ船乗船記念になるような手軽なお土産の品ぞろえが必要と感じた。(チョコレート、クッキーなど)
29. とにかく大きい船なので前後左右を把握するのに時間がかかる。部屋が船尾の方だったため、右舷左舷を間違えると大きな距離移動の戻りがある。22 万トンクラスとどれくらい横移動に時間がかかるのかと想像する。劇場は 3 階分の吹き抜けで豪華。プールも室内、室外の両方があり終日航海の日が雨でも泳げるというのは良い。屋上テッキにも周回ウォーキングコースやバスケットコートがあり、船の大きさを感じる。ただ、ウォーキングコースには距離明示が欲しい。
30. 都会的で洗練された雰囲気を感じる。三層吹き抜けのメインシアターは、本格的な大劇場。ビュッフェレストランは大変広く、オープンエアなスペースも充実。
31. 前回乗船したMSCスプレんティダと比較して、船内がよりシックで落ち着いていて、おしゃれなつくりになっている印象を受けた。キャビンのつくりやクルーの雰囲気はあまり変わらない印象を受けたが、キャビン内のシャワールームがカーテンではなく、扉で仕切られているのはよかった。
32. 全体的に高級感があつたように感じた。船内はとても広かったが、テッキプランがとても見やすく、行きたいところはすぐわかった。トイレは探すのに苦労した。シアターの広さ、豪華さには驚いた。

「船内サービス(ソフト)の感想(①「レストラン・カフェ・バー・ルームサービスでのメニューについて」、②「レストラン・カフェ・バー・ルームサービスでのサービスについて」、③「キャビン清掃、ホテルレセプションについて」、④「カジノについて」

1. バッフェレストランに、アイスクリーム、ジェラートがあり、ほぼ 1 日食べれる。プリンセスにもないサービスであり素晴らしい。SPA カフェでは、健康的なメニューがある。アサイドドリンクは元気になれる。スムージーもあるが、有料。実は、コンシェルジュクラスのルームサービスのプレミアムブレックファーストでは、スムージーが無料で味わえるのも素晴らしい。②サービスは、プールサイドでは、自由にタオルが使える。(カジュアル船では、ルームナンバーが必要)③毎晩、チョコレートがあり、ホツとする。④カジノは経験せず。
2. 麺やパスタなど、シェフが作ってくれるメニューがよかった。もっと食べたかったがお腹が追いつかなかつた。2) 3D のティナーは、驚きがあつてよかった。3) 1 日に 2 回、ベッドメイクがあつたのだろうか? タオルがいつも交換されていてよかった。4) カジノは、年寄りばかりだったので、パチンコ屋のような雰囲気だった。
3. バッフェレストランのメニューが豊富で、有料のカフェやジェラートの購入意欲が薄れるほどである。②熟練の方、新米の方の差が大きい、ホスピタリティ精神にはあふれている。③コンシェルジュサービスを使えたが、特に一般のレセプションと変わらないようである。④寄港地が多く、カジノをする機会がなかった。
4. "レストラン、バーはいずれもサービスが素晴らしく、快適でした。メニューは落とし穴もありますが、基本的に全てにおいてクオリティが高く満足度が高いです。"
5. レストランメニューのおいしさに当たり外れがあると聞いたが、比較的当たりだったように思う。朝食メニューは

着席レストランよりビュッフェのほうがよかった。プロジェクションマッピングとレストランの融合は大人数で行ったほうが感動をシェアできて楽しめる。バーでのパフォーマンスなど、SNS 映えを意識したパフォーマンスに、日々クルーズも進化しているのだと感じた。カジノは開場時間が短かったので、体験する時間はなかった。

6. レストランのメニューは毎日変わるメニューの割合が多く飽きることがなかった。また一部口に合わないものがあったもののどのメニューもおいしく、質も満足のいくものであった。バーのメニューについては一部のバーでエンタテインメント性のあるメニューもあり、とても面白いものであった。②サービスについては気さくなウエイターの方が多いなと感じた。日本語の歌を歌ってくれる人や笑わせてくれるジョークを言う人が多くいた。また、誕生日のサービスを充実していたと感じる。③キャビン清掃について不満を抱くことは一度もなかった。いつも掃除が行き届いており、気持ちよく過ごすことができた。ホテルレセプションについて日本語対応の時間帯であっても日本語で対応されることは一度もなかった。あくまでタイミングの問題だと思う。対応自体は特に不満もなかった。
7. "①「レストラン・カフェ・バー・ルームサービスでのメニューについて」→レストランは日本語、バーは英語表記。ルームサービスはメニューを見ていない。②「レストラン・カフェ・バー・ルームサービスでのサービスについて」→レストランではイスを引いて座らせてくれた。役割分担(案内係、オーダー係など)がはっきりしていてスムーズに案内やオーダーを聞いてくれた。③「キャビン清掃、ホテルレセプションについて」→いつもきれい。気持ちが良い。レセプションを訪れることはなかったが、スーツを着ていたときにクルーと間違われ、エクスカーションの変更の手伝いをした。つたない英会話でも優しい対応。④「カジノについて」→ルーレットにチャレンジ。あまりしゃべらないディーラーは一見、怖そうだったが腰元で隠れてピースサインをしてるを見つけて一気に安心。かっこよさ(Cool さ)が際立つ。"
8. "①メニューについては、ほぼ満足だが、もう少し日本食があれば良いと思う。サービスに対しては、クルーが多いため、スピーティで愛想も非常に良いと思う。バーはもう少し営業時間が長ければと思った。キャビンは常に隅々まで清潔に保たれている。カジノはやりたくても、参加の仕方や遊び方がわからない。日本人スタッフがいれば良いのだが。"
9. "①レストランでは毎日異なるメニューを楽しめて、とても満足できました。普段、コース料理を食べることは少ないので、毎日満腹状態でした。レストラン内は常に満員状態といった感じで、とても賑やかな印象を受けました。ウエイターさんも親しみやすい人が多く、賑やかさには事欠かないという雰囲気でした。キャビンは常にきれいな状態に保たれていて驚きました。いつも清掃やオードブルを準備してくれるクルーの方とは挨拶も交わすようになりました。カジノでは、同行した方々の様子を見て楽しかったです。カジノがオープンしている期間が短いことは残念でした。"
10. "①ツアータリフに含まれているレストランは、毎日メニューが変わるものの、途中で雰囲気に飽きてしまった。②話しながら、歌いながら、口笛を吹きながらのスタッフを数名見かけたが、緩い雰囲気も外国にいる感じがあって、個人的には楽しめた。③清掃面は問題なし。同クラスの部屋でも備品の種類や個数が違う等、アバウトさは感じた。初めてカジノを体験したが、ディーラー(ルーレット)がルールを丁寧に説明してくれたため、楽しむことができた。"
11. 10階ビュッフェに足を運ぶことが多く、日本食など種類が豊富にあり好きなものを好きなだけ食べることができた。船社はあくまでも海外籍ですので海外で食べる日本食という感覚で様々な日本食を味わうことができ、非常に楽しめた。③キャビンの清掃は決まった清掃員が対応してくれていたため、清掃時間など融通が利き快適な環境を与えてくれた。
12. "①レストラン、カフェバーなどのメニューに関しては充実していたが、特にビール含め酒類の金額が少し高いのではと感じた。②サービス毎に店員の役割が違うので致し方ないところもあると思うが、レストラン入り口や

店内で待機している店員の多さに驚いた。③客室清掃は1日に2回も行われ、かなりの清潔感を保っているのには少々驚いた。カジノに関しては法律を理解していなかったことや途中乗船のため、想像していたより営業時間が短いことが残念であった。"

13. ①②は、品数、種類も豊富であり、提供方法もビュッフェ式からパンやスイーツの専門店式など、工夫があり、とても満足できて楽しめるものであった。③は、キャビン清掃スタッフも笑顔と挨拶を備えて常に機敏に働いている姿に、クルーズ船の品質の高さを感じた。④は、初めての体験であり、短時間での体験ではあったが、念願のルーレットが出来たこと、また、カジノのルールについても学べてよかった。
14. "①メニューは充実しており、何を食べてもおおいかった。但し、(自分だけかもしれないが)メニューのどの部分から何を選んだらよいかのかわかりにくかった。ウェイターも明るく、丁寧に対応してくれて気持ちよく食事をする事ができた。室内は「また?」と思うくらい清掃に入ってくれており、気持ちよく室内で過ごす事ができた。利用していないので、詳しいことは記載できないが、想像よりも広く、本格的であった。"
15. レストランのメニューは、定番メニューと日替わりメニューがあったため、安定性の面からも多様性の面からもバランス良く提供されていた。前菜もバラエティに富んでおりコース的に選択できるのも良かった。②対応している人数のわりに、料理や飲料が提供されるスピードや正確性も問題がなく、とても満足いくものだった。③部屋の清掃は、特に感想を持たなかったが、毎日セットするタオルの枚数を増やして欲しいというオーダーにもきちんと対応して頂き感謝している。④カジノは、日本人客が多かったせいかそれほど盛況でなかった印象。もっと盛況であれば気軽に楽しめたかもしれない。
16. "①ビュッフェのレストランは様々な国のメニューが用意されており、毎日利用してもあきることにはなかった。メニューの中の日本のメニューについては、外国人の考える日本メニューという感じではあった。また、コースを提供するレストランでは、固定の定番メニューと日替わりメニューがあり、こちらも様々な味を楽しむことができた。客席数が多く、それに合わせてスタッフも多く、テーブルや業務ごとに担当が決められており、スピードや接客も満足がいく内容であった。部屋の清掃は、毎日きっちりされており、まくらもとにチョコレートが置かれているなどさりげないサービスも好印象であった。外出せずに室内にいるタイミングで清掃にくることがあり、申し訳ない気持ちになることがあった。日頃なじんでいないため、ルール等よく分からない部分があった。自分がのぞきに行ったタイミングでは、割と閑散としていた。"
17. "レストランやカフェなどの料理は種類も多く、当初思っていたよりもずっと美味しかった。しかし、有料のアルコール等の料金はとても高く感じた。サービスについては、丁寧に愛想もよかったため、特に不快な思いをすることもなかった。カジノについては、使用方法等が英語のみ書かれているものも多かったので、多言語標記があると助かると感じた。"
18. (カジノは体験していないので、それ以外で言えば)通常のホテル・レストランと大きな違いは感じなかった。食事もおいしくいただけ、クルーのサービスもそれなりに丁寧だと感じた。キャビン清掃についても、改装直後ということもあったが毎日部屋はとても清潔にキープされていてありがたかった。
19. ビュッフェは種類がかなり豊富で、その場でパスタ・オムレツ等を調理したり、肉を切り分けたりするサービスは、特別感があってよかった。レストランは、陸にある気軽なレストランに近いサービスが提供されていたと思うが、ウェイターの数が少ない印象で、飲み物を注文した際の待ち時間が気になった。メニューは日本語表記でわかりやすく、おいしくいただいた。キャビンの清掃は行き届いており、文句はなかった。
20. "①レストランでは多彩なメニューで滞在が長くても飽きることはないと感じた。ルームサービスのメニューも充実。特別レストランはとても面白い。②レストランのサーバーは基本的には迅速で、呼んだらすぐに来てくれるので満足。ルームサービスでメニューにあるドリンクを頼むと、これはバーに行かないと持ってこられないから時間がかかると待たされた。持ってきてくれたので、文句はないが、バーに取りに行く必要があるドリンクをメニ

ューに入ると、サービスが大変そうだった。③キャビンはいつも清潔だったが、船内新聞が届かなかった日があった。"

21. ルームサービスは、ビュッフェレストランで味わえるメニューと大体同じであったように思うが、ビュッフェレストランは、時間帯により大変混雑していたので、ゆつくりと部屋でいただきたい時にはルームサービスを利用すると便利であるし、非常に優雅な時間が楽しめる。②・客室クルーはとても親切でにこやかな接客であった。・レストランの開店待ちで長蛇の列だったのには少し驚いた。また、レストランへと続く通路上でヘッドスパ施術が行われているのにも驚いた。・ビュッフェレストランの入口付近には、料理の配置マップが表示されており、様々な料理が色分けされたアイコンで位置が示されているので便利であった。朝食・ランチ・昼食・夕食・夜食とオープンしており、ビュッフェレストラン以外にも、カフェやバー等がオープンしているため、観光に出かけず船内に留まっている方でも、食事の心配をすることなく一日中過ごすことができ便利であると思った。③・清掃と併せて客室内のタオルの交換等はしてくれたが、冷蔵庫内の水の補充はなかった。(そのため、旅慣れた方はレストランで自ら持参のペットボトルに水を補充していた。)・案内デスクが24時間対応で本当にホテルのようである。・日本語サービスも充実しており、日本人スタッフやホストも常駐していて便利で過ごしやすく、外国船であっても言葉の心配は無し。英語が苦手な方でも安心して乗船、滞在できる環境が整っていた。・船客が早朝から深夜まで楽しんでいる間、クルーは一日中接客や清掃をしないといけないため大変であるなと感じた。④カジノまで楽しむ時間がなく残念であった。
22. "ティナーはメニューも豊富で日本語も対応しており好印象だった。しかし、頼んだドリンクがなかなか来ず、また、料理も注文とは違うものが届くなど、サービスには不満が残るものだった。キャビンは清掃が行き届いており、快適に過ごすことができた。"
23. キャビンの清掃については完璧とは言えない部分もあり、改善の余地があるかなと感じました。
24. "①コースのレストランでも、日替わりメニューがあり良かった。バーも様々な種類のお酒があり楽しめた。ただ、カクテルに関してはアルコールが少し強めかなと感じた。②サービスは担当者によってかなり違った。レストランではサーバーによって担当テーブルが多い為なのか注文を取りに来るタイミングが遅かったり、注文を忘れていた人もいた。反対にサービスがきめ細かいサーバーは、食事が終わるまで丁寧な接客をしてくれた。③キャビン清掃は丁寧であった。いつもきれいにしてくれていた。ホテルレセプションも聞いたことに対して最後まで調べてくれた。カジノは機械が最新であった。また、カジノティナーも一定の時間で変わる為、ゲームにも変化があり、見ている側としても面白かった。"
25. レストランメニューは正直2日食べれば味に飽きる感じであった。サービスは頼んだドリンクがなかなか出ないなどあったが、クルーの感じはよくあの人数を対応していると思えば許容範囲内であった。カフェ・バー・ルームサービスは利用していない。キャビン清掃はいつも清潔にされていてよかった。
26. "①ビュッフェの面積がとても広く、その中に、何回にも分けて行かないと食べてみたいものが食べられないほどたくさんの料理が並んでおり驚いた。②4.5階にわたるメインレストランは豪華だが、サービスはそれほど丁寧ではなく、次の皿が出るまでの待ち時間も長かった。有料レストランはサービスが丁寧。③清掃は1日に3回程度ありかなり頻繁。ここまでなくてよい。部屋で資料を読んでいるときに何回か清掃が来たが、Don't disturbの札をこまめに出すのは少し面倒。レセプションは利用なし。④カジノは利用なし。"
27. "①乗船期間が短く、また業務の都合上食事をとれないことも何度かあり、メインダイニングとビュッフェのみ利用した。ダイニングのメニューは一見いろいろあるように見えたが、それほど変化があるわけもなく、ずっと乗船していると間違いなく途中で飽きるだろうと感じた。他にもレストランがたくさんある理由が納得できた。時間があればスペシャリティレストランも体験してみたかった。②ダイニングのサービスの質はいまひとつと感じたが、あれだけの人数に一度に対応しているので、致し方ないとも思う。スタッフは陽気でムードは悪くなかった

- が、個人的にはもうすこし落ち着いた感じのほうがよかった。③レセプションには公私ともに色々とお世話になったが、対応は親切でとても好印象だった。④営業していない時間に見学しただけなので、特に感想なし。"
28. レストランは、メニューも豊富で、手作りメニューも多く満足した。特に、日本人スタッフによる「カレー」「ひじき」は好評であった。また、キャビン清掃も適当な時間に行届いており、船員は明るいあいさつで気持ちよく接してくれた。
29. "①サーブ方式のレストランは本格的なフレンチで前菜、スープからメインまで好みに応じて選べるようになっている。通常メニューとその日のスペシャリティがあり、日常で食べない様なメニューが並んでおり選ぶのに悩む。ラムをオーダーしたが量が結構あり、お腹一杯になる。周りを見ていると、どのメニューも基本、ボリュームがあるようだ。ブッフェ形式は前回のつた船に比べ、目の前で調理してくれる、ステーキ、パスタ、スープヌードルまた、日本のシェフが作ったカレーが人気である。②サーブ形式のレストランはフード、ドリンクともに注文をとりにくるのに時間がかかる。テーブル毎に担当が決められているようだ。席も相席に驚くが、隣と人と会話が弾み、これはこれで楽しい。③キャビンは1日2回ベッドメイキングが入り、とても快適。レセプションは日本語ができる乗務員が少なく、他方、9割が日本人客のため、若干ストレスがたまっているお客も見かける。④(カジノは行っていません)"
30. "①レストラン(メトロポリタン)・ブッフェ(オーシャンビューカフェ)ともに、種類も多く、味もとても満足のいくものであった。②メトロポリタンの下のフロア(4階)はクルーの人手が足りていない印象。待ち時間も長く、注文と異なる提供も多かった。③1日2回の清掃で、キャビンは常にきれいに保たれている印象。④カジノは利用していません。"
31. "①メトロポリタンや、ブッフェのメニューは随時変わっていたし、乗船客を飽きさせないようにしている印象を受けた。食事も乗船したことのある船(MSCスプレントイダ)と比較して美味しかった。②メトロポリタンでは、クルーの人手が足りておらず、待たされる時間が多かった印象を受けた。③キャビン清掃が一日2回あり、徹底されていると感じた。④カジノは今回はプレイしなかった。公海にいる時間が短かったので、タイミングもあわなかった。"
32. メニューについては比較的馴染みのあるメニューであったように感じた。外国人による料理という感じはしたが、それも含めていい思い出になった。②サービスも細かいところに行き届いていたと感じた。③キャビン清掃も大変質の高い清掃であった。毎日気持ちよく過ごすことが出来た。④未利用

船内の SHOW やエンターテイメントの感想(船内鑑賞イベント全般、プロダクションショー)

1. ショーは、アメリカ船ということもあり、歌関係のショーが多かった。日本人むけには、語学力が要らないショーが望ましいと思われる。夜には、ダンスタイムがあった。特にサイレントディスコはユニークな取組であり、特別な体験が出来た。
2. 選曲が1960から1970代中心だったような気がする。ABBAダンスなどは、映像を期待したけど、歌詞がスクリーンに映っているだけだった。モータウンミュージックとかビートルズのちょっとした解説があるとよかった。
3. 今回は音楽のショーが多かった。歌、楽器など、それぞれゲストを招いてのショータイムも多かったため、楽しめた。しかし、プロダクションショーがもう少しあってもいいし、マジックショーなども欲しいところである。もう

少しバラエティの幅があると嬉しい。

4. 個人的にはとても楽しめましたが、大仕掛けのショーはあまりなく、音楽中心のエンタテインメントのため、マジックなどバリエーションがあってもいいかもしれません。
5. 色々な背景の客がいる中で音楽、特にソロで楽しませるのは難しいと感じた。音楽の該当分野(ジャズ、クラシック、ヒップホップ etc.)が好きな客であればよいが、そうでないと退屈する。知っている曲も年代ごとに違う。その点、アクロバティックなサーカスは年代問わず万人受けすると思った。
6. 船内の SHOW は私が今まで乗った船の中で一番良かったと思う。毎日違ったテーマのプログラムが開催され飽きることがなかった。演者さんもほぼ毎回違う人たちが出てきていろいろなショーを楽しむことができた。また、SHOW が行われる劇場もくつろぎやすい座席になっており、お酒を飲みながら SHOW が見れるようにテーブルが置いてあったのもよかった。
7. ダンスやヨガ教室、ボーリングや卓球大会、ギター演奏、カクテルの作り方、ビンゴゲームなどあらゆるイベントが毎日、時間をおくことなく行われる。毎晩開催されるシアターでの演劇やライブ演奏は圧巻。
8. シアターで行われたエンターテインメントショーは、プロの非常にレベルの高いものであったのと同時に、日替わりだったため、飽きることもなく、時間的にも適正だった。シアター以外の船内で行われていたショーも足を止めてしまうほど、楽しく華やかさがあつた。
9. "・船内のメインイベントには毎日参加しましたが、毎日ジャンルの異なる演舞が催され飽きませんでした。レストランと同じく2回制になっておりとてもにぎわっていましたが、満席ということもなく快適に楽しめました。簡単な飲食をしながら鑑賞できるのもうれしかったです。"
10. "・いずれも外国人によるショーであったが、全般的に日本人(世界中の人)にも伝わりやすいような楽曲、エンターテインメントであったため、通訳なしでも十分楽しむことができた。ステージに近い席、2階席で見え方や雰囲気の違い体験できてよかった。"
11. 船内ショーは毎日欠かさず鑑賞した。船内イベントの一部ではあつたが、演目も各日で異なり、乗船客を飽きさせない工夫がされていた。そして、揺れがあるなかでの完成度の高さ、美しさには船の中にいることは忘れさせてくれるほど大迫力で見入ってしまうほどでした。
12. 船内のショーに、ムーンルーージュやシルクドソレイユで活躍された新体操の金メダリストの方が出演し、空間を目一杯使った演出や演技レベルの高さには驚いた。劇場としても座席配置、映像、音響とも申し分なく、好き嫌いはあると思うがそれぞれの演目で演出にも拘っており素晴らしいと感じた。
13. 大ホールでのショーは、あまり鑑賞することが出来なかったが、様々なダンスイベントやバンド生LIVEなどが、船内の各所で、嗜好を変えて開催されており、長期滞在となる船内において十分に楽しめる工夫が凝らされており、とてもよかった。
14. ショー自体見ることがないため、感動した。時に観客も巻き込み、魅了し、エンターテインメントを満喫できたと思う。また、北九州では、太鼓のステージがあつたが、地元団体がステージでショーを行うことできるのかと目からうろこであった。
15. 毎日、夕食前の時間帯にテッキ4のシアターでショーを見学した。まず、時間設定が夕食前の定時ということ

で、足を運びやすかった。歌やダンス、ミュージカルのなものなど、色々なジャンルのものが見られて良かった。地元の太鼓の披露があったが、そのような和の出し物は、今回のように日本人がほとんどのツアーの場合、また外国人ばかりの場合のどちらが受けるのか考える余地がありそう(地元でもそのような取組を行っている)。

16. 毎日演目が変わり、かつレベルが高く、あきることなく鑑賞することができた。様々な種類のショーが行われたが、海外の感性により構成されたものであるためか、部分的に理解できないものもあったが、非日常的な空間や演出で、特別な体験をしているという気持ちになり気分が高揚した。
17. ショーは非常にクオリティーが高く、楽しめた。1日しか見れなかったため、もつと他の日のショーも観てみたかったと感じた。
18. SHOW やエンターテイメントが予め組み込まれているところが、異なる点だと思う。毎日違ったプログラムが用意されているため、毎回新鮮な気持ちで楽しむことができた。
19. シアターでは、コンサート、サーカス、ミュージカルを鑑賞した。二人組でのサーカスは、想像以上のクオリティで見てたえがあった。ミュージカルはもともと馴染みがなかったものの、船内で迫力ある歌やダンスを鑑賞できたのはとてもよかった。シアター設備自体についても、思っていた以上の設備で夜の楽しみの一つになっていた。
20. ショーはどれも迫力があり、歌のジャンルも幅広く、とてもよかった。シアターも快適だった。シンガーたちが時々日本語を使うことにも親近感もてる。ショーの中で、客席周りに降りてくる演出があり、シアター全体を巻き込む演出だと思う。また、ショーの後に写真撮影ができ、感想を直接伝えられるのはとてもいい。
21. 力強いバイオリン演奏はとても迫力があり感動した。また2日目のソプラノ歌手の歌唱力は素晴らしく大変癒されたステージであった。3日目はアクロバティックショーと毎日変わるので飽きることもなく、どのショーも見応えがありクオリティーの高さを感じた。またこの度、プロジェクションマッピングティナーを体験(ミレニアムで体験できると思っていなかったので嬉しさ倍増)。不思議なプロジェクションマッピングと食事がコラボレーションする最先端のデジタルアートを体感でき感激であった。
22. 2泊3日の中でショーを1度だけ見ることはできたが、なかなか迫力のあるものであった。しかし、一番後ろの席からだ画面は上のほうが見切れ、また、演者がリングなどで上昇した際には隠れてしまい、場所取りが重要だと感じた。
23. ショーのエンタメは全てが素晴らしく最高でした。
24. 船内ショーに関しては、見飽きる事なくとてもよかった。本格的なミュージカルやソウルミュージックショーに関しては、年齢関係なく観客も一緒に音楽にあわせて乗れるような音楽を披露していて一体感を感じる事が出来た。
25. ショーはもう少しスケールの大きいものを想像していたが、割と普通の音楽系ステージであった。ただ、毎日違うものが楽しめる点はよいと思う。
26. プロダクションショー、ゲストエンターティナーのショーともすばらしいレベルだったが、乗客が比較的高齢だったこともあり、ステージが淡々と進んだような印象がある。会場の盛り上がりはそれほどでもなかったかもし

れないが個人的には十分楽しめた。

27. 乗船中に船内ショーを鑑賞できたのは一度だけであったが、日替わりでこのようなショーを毎日行っているのはすごいことだと感じた。また、ショーを見に来ている人の多さにも驚いた。このような船内エンターテイメントが、クルーズの魅力のひとつなのだと改めて実感した。
28. 北九州寄港時には、シアターで「小倉祇園太鼓」の演奏があり、また乗船客による太鼓体験もあり好評であった。このような、乗船客にとって普段は体験できない寄港地ならではのスペシャルな郷土芸能の演出も面白いと思う。
29. メインシアターで開催されたコンサートを見に行く。席にすわるとウェーターが注文を取りにくる。各席に飲み物をおくフォルダが設置されているので気兼ねなく飲み物を楽しみながら鑑賞できる。ショーはシンガーが恥ずかしがりやの観客を上手に巻き込んで、会場が一体となるように盛り上げている。観客席が3層吹き抜けのため大勢が鑑賞でき、照明設備も普通の劇場と変わらず、船内の設備とは思えないくらいである。
30. プロジェクションマッピングと美食がコラボした話題の3Dショー「ル・プチ・シェフ」はぜひ体験したいと思っていた。メインシアターでのショーでは、オリンピックでムーラン・ルージュ主演者のアクロバティックなショーが特によかった。また、ビートルズが好きなので、ジョン&ポールのショーは嬉しかった。ジョン(?)の喉の状態が良くない様子で、少し気の毒だった。
31. ショーで演技されていた、北京オリンピック金メダリストの女性を含むカップルの演技は素晴らしかった。金メダリストという情報があるだけでも、知人に語りやすいし、良いと思った。また、ル・プチ・シェフでのプロジェクションマッピングを使用した演出も大変おもしろかった。
32. エンターテイメント等未鑑賞

"船内の施設での体験に関する感想(ジム・ゲームなど)や体験型イベント(ダンス PARTY・ビンゴなど)の感想

1. 今回は、年齢層が高かったこともあり、ジムは、混んでいなかった。体験型イベントは経験しなかったが、船内で話をした乗客のなかには、体験型イベントは少なかったという声も聞こえた。外国船の1回限りのチャーターであり、日本人向けサービスを充実させるハードルもあろう。英語の制約も残る。ただ、それらも含めて、外国を味わうと考えれば楽しめると思われる。
2. ジムで体を動かして、汗をかくのは気持ちがいい。ジムで走って、息があがって、汗をかいて、そして、シャワーを浴びて、レストランで食べる。また、ジムで体を動かして、レストランで食べる。この繰り返しはとても楽しい。
3. "サイレントディスコや、ABBA ダンスパーティーなど、初めての経験や、みんなが一体となれるなど、とても楽しい取り組みである。マティーニバーでのショーもとても良かった。"
4. 有料スパが非常によく、時間制約でもう一度行けなかったのが残念でした。ダンスにも挑戦できてよかったです。より若い人向けのゲームや、みんなで踊るダンス(ズンバ等)が充実すればより盛り上がりそうですが、ターゲットが違うのかもしれない。

5. 外国人はダンス好きが多いのでこれまでの船でのダンス系イベントは参加者が多かったが、今回はほぼ日本人で社交ダンス系の人しか踊っていなかったのでは。ダンスに対する情熱は、海外との差を一番感じた部分である。
6. 船内イベントに関してはあまり力を入れていないのかなと感じた。特に昼間の時間帯のイベントは特に目新しい物もなく、毎日おなじような内容のプログラムしかなく少し残念であった。しかし、夜のイベントは少し変わったものもあり、みんなが各々ヘッドフォンを付けて一つの会場で踊るというサイレントディスコはとても楽しいものであった。
7. ダンスパーティやカラオケに参加する予定だったが、疲れて寝てしまった。カジノのルーレットを体験。ディーラーとの「かけひき」まではいかないが、ゲーム特有のスリルを楽しめた。
8. ビンゴに参加したが、少し高いかな、と感じた。1人勝ちではなく、もう少し(もう2,3人)商品(賞金)が行き渡っても良いのではないかな。サイレントディスコは参加するまでは違和感があったが、実際に参加すると異様な空間の中、それはそれで楽しめた。面白いイベントだと思う。
9. "・ジムではウォーキング、ランニングをしましたが、舞鶴港に入港するきれいな風景を眺めながら運動したり楽しみました。屋上の多目的コートでバスケットボールをしたのも、とても楽しかったです。"
10. "・社交ダンスのレッスンは、日常では参加することが難しいため、貴重な体験となった。夜のラウンジでは、年配の方が多く踊っていて、パワーを感じた。寄港地に下船中もイベントが開催されており、中々全てを体験しきれなかった。"
11. ジムを3日間ほど利用したが、使用したい器具がほぼ揃っており、船の中とは思えない器材の充実ぶりに関心した。フィットネスブームということもあり想像以上の利用者の数にも驚いた。また、ビンゴゲームにも参加したが、日本では考えられないほど賞金が高く、参加者を興奮させるものであった。
12. 今回は初めての体験ということもあり、まずは館内散策で時間が取られたのと、北九州からの乗船ということもあり終日クルーズがなく、寄港地での下船や研修・食事等で体験イベントに参加したため時間がほとんど無かった。次回は是非参加したいと思っている。
13. プールでは、鈍った身体を解すことができ、また、温水ジャグジープールもあり、リラックスしながら身体をケアすることができた。スポーツジムも、船首で窓越しに水平線を眺めながら、ランニングマシンで走ることができて、とても爽快で贅沢な汗をかくことができた。ダンス PARTY では、久々に踊ることができて、とても開放的に楽しんだ。
14. ジムやゲームコーナーも体験していないため、具体的なことは記載できないが、ビンゴにはカードを求めて多くの人が集まっており、乗船客にとって船内イベントの需要は高いと感じた。
15. 毎日、朝にフィットネスでランニングマシンとストレッチ教室に通うことを日課とした。食事の提供がフリーで行われているため食事の量が増えてしまう可能性のある中で、24時間利用できるフィットネスは重宝した。ストレッチ教室も朝7時という時間設定が絶妙で、朝食前の時間を有効活用できた。夜、お酒を飲みながら楽しむのは前提として、こうした体調を整えるためのサービスが提供されているのは、旅行期間が長くなればなるほど重要性が増してくると思う。

16. 各イベントとも説明が日本語であり大変分かりやすく、また進行も全体的にスムーズであった。日頃このようなイベントに参加する機会があまりないため、不慣れで最初は戸惑ったが、他の参加者とも一体感を持って楽しむことができた。ジムの教室に参加した際はインストラクターが外国人で英語のみの説明であったが、動きで示してくれたことから、なんとか理解できた。
17. 参加なし。
18. 飽きないよう一日を通して様々なプログラムが用意されており、プログラムを追いかけているだけで、時間が過ぎた。乗船前はもっとゆっくりとしたイメージをもってしたが、いい意味で忙しい旅だと感じた。一方で、プログラムには参加しないという選択もできるので、それなりに幅広い顧客ニーズに対応できると思った。
19. 参加していない。
20. 船内では体験イベントが多くあり、すべて体験できたらいいのと思う一方、リピーターのきっかけになるとも感じた。ただ、昼間のイベントも魅力的なので、受入側としては船内で過ごす方が多いという結果にならないように努力しなければならないと感じた。
21. フィットネスセンターからの眺めが最高であり、パノラマの景色を眺めながらのランニングは気持ち良かった。・各デッキではゆっくりと朝日を浴び心身ともに癒される至福のひとつを体感できた。・普段立ち入ることのできないギャレーツアーが、無料で行われていたが、パネルティスカッションの時間と重なり、参加できず残念であった。次回あったら是非参加したい。・ダンスパーティーは、見るのも踊るのも初めてで最初戸惑いを感じた。老若男女皆一体となって、幅広い年齢層の方が、年の差も感じず踊り楽しまれていて素晴らしかった。・カラオケナイトでは、ラウンジが歌謡スナックの雰囲気になっていた。大人気でリクエストする方が大勢いらっしやり、時間制限もあることから、リクエスト受付は早々終了しており、船客はあらゆる船内イベントを楽しまれていると感じた。
22. プール・ジャグジーを利用したが、プールは子ども用の浅いものもあり、家族で楽しめるものだと感じた。プールは海水で少し冷たかったが、ジャグジーは温水になっており、冷えた体を温めることができた。
23. 最上階でのダンスイベントは楽しめました。
24. "体験型イベントに関しては、サイレントディスコが面白いと感じた。各々好きな年代の音楽をヘッドフォンで聞きながら音楽にのる自由なスタイルはあまり見たことがなかった為、刺激を受けた。11階で行われていたディスコでは、老若男女問わず同じ場所で何も気にせず踊っていた。船の上は非日常な場所(?)である為、日本人でも躊躇なく参加できているのは良いことだなと感じた。また、個人的ではあるが、社交ダンスを初めて体験出来たことはこのクルーズの中でも素敵な経験となった。"
25. 体験型イベントは参加すれば楽しめるので、もっと大人数が参加できるスペースだとよいと思った。
26. "参加したゲームはなかった。ジムは早朝に利用したこともあり込み合うこともなく、ランニングマシンやウエイトマシンも十分あり十分な運動を確保できた。器具が置かれてない床は主にヨガ教室が使用するようだったので、ヨガに参加しない人がストレッチをするスペースがあればさらによかった。"
27. 体験していない。
28. 体験していない。

29. ダンスパーティーは日常参加しないが、アカデミー面々の誘いがあったので参加してみる。会場では老若男女問わず、というかむしろ高齢者の方が前列にでて盛り上がっているのを見て、恥ずかしさもなくなり、楽しく踊る。アバナイトという親しみのある曲のため、非常に踊りに入っていくやすいと感じる。
30. ほぼ毎日ジムを利用し、1時間程度ランニングした。いい汗をかくことができ、その後の朝食でのフルーツが美味しかった。ダンスパーティーは知らない楽曲の日が多く、あまり踊ることができなかった。
31. ダンスパーティーには少し参加したが、シニア層が非常にエネルギッシュに踊っていた印象を受けた。
32. (毎日の寄港地観光デスク対応で体験型イベント未体験)

"乗船港(横浜)での感想(港・ターミナルの施設評価、乗船時対応の感想、観光地としての魅力など)(横浜乗船者のみ)"

1. 途中乗船のため、該当しません。
2. 途中乗船のため、該当しません。
3. 優先搭乗をさせていただいたので、搭乗はスムーズであった。事前チェックインはしていなかったが、当日のチェックインでも時間はあまり変わらなかったようである。日曜日ということもあり、大さん橋に遊びに来ている方が、黄色のハンカチを振ってお見送りしてくれるのは嬉しい。
4. 進化を続けている横浜港。アクセスも良く、休日に一般の方々もクルーズを見にきていたのか、多くの人で賑わっていて、施設の有効活用に活かそうなのにと感じました。(船がきていないときはあの人出はないのでしょうか?)
5. 途中乗船のため、該当しません。
6. 大さん橋はきれいでおしゃれなターミナルだと感じた。乗船までの手続きも並ぶことなくスムーズに行うことができ、とても満足であった。そして、何より出港の際に大さん橋に来ている観光客の方たちなどがみんなで黄色いハンカチを振ってお見送りをしてくれたのはとても感動した。
7. 途中乗船のため、該当しません。
8. 横浜港はみなとまちであるが故に、客船との一体感があり、見映えも良い。また、観光地としても異国情緒が漂い、魅力がある。ターミナルは広く、快適であるが、飲食店が少ない。乗船時対応は流れ作業であるため、ある程度は仕方ないが、もう少し丁寧さ、親切さがあっても良いと感じた。
9. "・チェックインは想像していたよりも難しくなくスムーズな印象でした。はじめての乗船のため、提出書類の記入方法など分かりにくいと感じる部分はありました。大さん橋はみなとみらいの駅から近く、手荷物が大きくなければ、とても便利だと感じました。"
10. "・ターミナル内は案内の掲示が徹底されており、手続きは問題なく、簡単に乗船することができた。羽田空港から大さん橋に向かったが、直行バスが運行しており、利便性が高いように感じた。送迎の人の多さは他港と比較して突出しており、賑わい空間としての魅力を感じた。"
11. 人生ではじめて大さん橋を利用した。ターミナルということもあり、非常に綺麗で日本の玄関口に相応しいと感じた。ターミナルはしっかりと整備されているが、空港と違いCIQなどは臨時対応感であった。乗船時、不明

なことが多々あったが、日本人の係員の方が親身に対応してくださった。

12. 途中乗船のため、該当しません。
13. 途中乗船のため、該当しません。
14. 途中乗船のため、該当しません。
15. 大さん橋に行ったのも初めてで、船に乗るのも初めてだったが、結果的に船に乗り込むまでの課程で、分かりにくかったり、困ったことは無かった。おそらく船側のオーダーで、急遽、パスポートのコピーを2部用意する必要が発生したが、ターミナルに専用のコピー機を持ち込み対応して頂いたお陰で、混乱することなく乗船の手続きができた。
16. クルーズ船を数多く受入れていることもあり、ターミナル施設は他港とは一線を画し充実している。また周辺の施設や景観とも調和し、港を中心としてしっかりとしたコンセプトのもとにまちづくりが行われていると感じた。周辺には多くの商業施設・宿泊施設・観光資源等があり、存分に楽しめる。
17. 途中乗船のため、該当しません。
18. 途中乗船のため、該当しません。
19. 途中乗船のため、該当しません。
20. 途中乗船のため、該当しません。
21. 途中乗船のため、該当しません。
22. 途中乗船のため、該当しません。
23. 大さん橋は機能的で使いやすいターミナルだと思います。
24. 横浜乗船ですが、横浜港で働いている為、短文で失礼します。
25. 乗船手続きに時間がかかるかと思っていたが、とてもスムーズであった。
26. 途中乗船のため、該当しません。
27. とてもよく整備されたターミナルだった。乗船人数の多さを考えると、多少時間がかかると予想していたが、乗船受付のスタッフも多く対応もスムーズで、予想以上に早く乗船できた。また、ターミナルが市街地に近いことや、付近に様々な施設があることから、自然なにぎわいがあるのが素晴らしいと思った。
28. 大棧橋は、ターミナル施設全体の規模が大きく、乗船手続きの対応スペースや待合場所が広いために、混雑が少なく乗船できた。また、山下公園、中華街などにも近く観光面でも魅力ある寄港地である。
29. 大棧橋の入り口までいくと、係員がカートを用意してくれており、スーツケースの運搬にありがたい。大棧橋の内部施設は、まるで空港のターミナルの様。日本を表す展示物があり、日本の海の玄関口に相応しいと感じる。パスポートのコピーを準備していなかったが無料のコピー機が設置されており、用意の良さに驚く。出向時は大棧橋のテッキにいる市民、観光客に配られた黄色のチーフを振ってお見送り。人の賑わいがある場所ならではののお見送りに感心。
30. "・横浜港大さん橋ターミナルは、視察したことはあるものの乗船は初めて。金沢港でも現在ターミナルを建設中だが、クルーズ船が寄港しない時期のにぎわいの創出が課題となっている。横浜港は市民が集う場となっている印象で、立地的な要素もあると思うが、参考としたいと感じた。"

31. 横浜の大横橋にはじめて行ったので、ターミナルとしても洗練されていて綺麗だし、特段イベントなどをやらずとも、市民・観光客が集まっており、にぎわっている様子だったので、うらやましいと感じた。
32. 発着港のターミナルはこれほどまでに大きいのかと、そのスケールに改めて驚く。乗船手続きについては、特にストレスを感じる事が無く、スムーズに乗船できた。当日は観光を楽しむ時間を確保出来なかったため、その点は心残り。

"広島港での感想(港・ターミナルの施設評価、乗船時・寄港時対応の感想、観光地としての魅力など)(北九州乗船者を除く)"

1. 広島港から乗船した。JRの駅からシャトルバスがあり、スムーズにアクセスできた。岸壁の上屋が、乗降ターミナルとなっており、広さ的にも問題が無いと感じた。ターミナルでは、広島のおみやげ物屋、食べ物店も出ており、ターミナル内で、広島を味わえることは良い。広島港周辺は、多くの島があり、眺めもすばらしい！出港時に、島々の案内を船内放送で行っても良いかも知れない。日本人のみのチャーターなので。
2. スムーズに乗船できて、よかったです。改札を通り過ぎたような感じで、とくに印象に残ることがなかった。それよりも、船内での食べ物のことを考えていたように思う。
3. お店なども出してとても頑張っている感じを受ける。その一方、継続性を考えると、毎回これだけの労力を割くことへの疑問もある。ゆめタウンさんがバスを出してくれているのはいいアイデアだと思う。市民の方が、船を見に来るといった事は少ないのが残念である。
4. 以前、クルーズアカデミーのプレゼンで港のデザイン(色彩の統一など)まで取り組んでいると聞いていましたが、実際に着岸した時、統制のとれた美しさに感動しました。またアクセスもよく、観光地としての魅力も大きいと思います。ターミナル内で提供されている飲食、物販もクルーによく利用されているようでした。wifi サービスは日本人にとってもありがたかったです。
5. ターミナル循環バスは乗降ともにわかりやすい場所にあり、迷うことはなかった。船に戻る時はクルーズ客が集中するので路面電車が混雑して気分が悪くなった乗客がおり、オーバーツーリズムの一面をみた。広島に降り立ったのは初めてであったので、短時間でも観光できたことに感激した。原爆ドームは日本の観光地には珍しく静謐で、ヨーロッパのようだった。世界遺産が2つある県として有名だが、宮島は当分の間改修中とのことで早く大鳥居が見られるようになってほしい。
6. スムーズに乗船できたと感じる。また、無料のシャトルバスも充実しており観光地までどのようにしていくかという迷いもなかった。観光地としての魅力も広島は高く、今回の寄港時間内ではすべての行きたい場所に行くことができなかった。強いて不便と感じた点を挙げると帰りの路面電車がとても混雑していて通常よりも多くの時間を要したことである。
7. ターミナルとしては上屋を利用した施設。クーラーは設置していないが、仕切りがない分、レイアウト自由など工夫がされている。廿日市ゆめタウンの無料バスは参考にしたい。エクスカーションの乗客に聞くと、宮島観光ルートは抽選だったとのこと。やっぱり広島は宮島・平和記念公園・原爆ドームに人気が集まる。
8. 倉庫を乗船ターミナル代わりにしているため、これから豪華クルーズ船に乗船する高揚した気持ちからすれ

ば違和感がある。また、今回五日市ターミナルが係留岸壁だったせいなのか、送迎の方も少なく、迎え入れのイベント等もなかったため、寂しい感じがした。さらに、五日市駅からターミナルに戻るバスは長蛇の列ができたため、やむなくタクシーを利用せざるを得なかった。

9. "・ターミナルは貨物上屋を転用していましたが、機能面では不便さを感じることはありませんでした。一方で、横浜大さん橋のような旅客専用ターミナルとは異なり、建物の雰囲気や空調等では快適さは感じられませんでした。観光地としては公共交通を利用すると若干距離があると感じました。土地勘があったため問題ありませんでしたが、初めて訪れる場合には不便さを感じると思いました。シャトルバスは無料でしたが、長蛇の列に並び必要がありました(特に帰船時)。タクシーも台数が不足しているようで、ようやく乗車したタクシーの運転手さんはクルーズ船が寄港していることを知りませんでした。"
10. "・市街地まで離れており、移動に時間がかかる印象を受けた。港に戻る際の電車は、クルーズ船客で混雑しており、体調不良を訴える人も出ていたため、代替案を考える必要がある印象を受けた。寄港時間によっては、厳島神社、原爆ドームが1度に見られる立地であることは、魅力的である。"
11. 大さん橋の次に寄港したせいか、倉庫での対応でしたので物足りなさを感じた。(臨時での対応感があつた)しかし、観光地としての魅力は存分にある(原爆ドーム、路面電車、お好み焼き等)ので、海外のお客様も足を運びたいと感じていると思うので今後、更にクルーズ港としての発展は期待できると感じた。
12. 途中乗船のため、該当しません。
13. クルーズ船への乗船環境に初めて触れる機会であったが、極めて仮設的な設営環境には"こんなものなの?"という少しの驚きを得た。他の寄港地に拠るにつれて、施設面の不足感を感じた。乗船手続き時に、ルームキーが準備されておらず、待たされる結果となったが、船舶関係スタッフの気遣いには感心した。
14. 原爆ドームや宮島など、際立った観光先があるのは魅力的にうつつた。また、シャトルバスを民間事業者が運行している点についても特徴的であった。横浜でも同様の事例はあるが、スポット的な扱いであり、横浜でも同様の仕組みが構築できれば良いと感じた。
15. ターミナルは物流上屋をクルーズ受入れに転用していることから、ブースやパーティションは仮設であったが十分な対応だと思う。シャトルバスも関係者が協力して用意しているなど、体制づくりが上手くいっている印象。短い時間だったが、広電を利用して原爆ドーム、お好み村、宮島の3つに行くことができ、コンパクトにまとまった位置関係は大きな武器だと思った。
16. 受入用の上屋は近年整備されたもので、きれいであった。また岸壁からシャトルバスが運行している主要駅まで近く、その駅からは原爆ドームや宮島といった2つの世界遺産へのアクセスも容易である。またクルーズ以外の外国人観光客も多く見かけ、しっかりと観光客を確保できている印象をもった
17. 途中乗船のため、該当しません。
18. どのような手続きで乗船するのか全くイメージがなかったため少し緊張した。乗船のため、寄港地観光という形では見ていないが、宮島観光や原爆ドーム、多島美などはインバウンドにも意味合いが分かるコンテンツであるため、クルーズをはじめ、国際観光を促進するにあたって優位性のある地域だと思う。
19. 途中乗船のため、該当しません。

20. ターミナルで特に印象的なのが、物販の幅広さだった。船内には持ち込めなくても、地酒などをターミナルで購入し、配送できる仕組みが面白い。ターミナル内で楽しめる飲食物があるので、観光に出られないクルーも楽しむことができるのでとてもいい。
21. 広島駅から五日市埠頭へは、シャトルバスも運行しており乗継時間も含め 30 分程度でスムーズに移動することができた。広島駅周辺には外国人船客が大変多く、国内外から人気の観光地であると感じた。1 日で 2 つの世界遺産を観光できるのも素晴らしい。五日市埠頭は、1 号上屋 (CIQ 棟) と 2 号上屋 (おもてなし棟)、移動式テント等綺麗に整備されていて、エアコン設備がないこと以外は、コンパクトに簡易設備が整っていると感じた。屋台をはじめ、地元の商業者が洋服や名産品・果物・ビールや酒類を販売。棟外にはキッチンカーが 1 台出店されており、物産展のような雰囲気でおもてなしが充実していると感じた。出港する際、キーボードとサクソフーン各 1 名による歓送演奏があった。少人数にもかかわらず、離岸して本船が遠くなるまで演奏していただき“おもてなし”の精神を感じた。
22. 途中乗船のため、該当しません。
23. 宮島が工事中なのは大変残念でしたが、列車の便もよく、観光しやすい街だと思います。
24. 広い倉庫がとてもきれいで明るくてよかった。ターミナルの休憩所も開けていてよかった。市街へのシャトルバスを降りた後も、丁寧に案内をしてくれた為、広島の人々の温かさを感じた。
25. 途中乗船のため、該当しません。
26. 途中乗船のため、該当しません。
27. ある程度下船者が落ち着いたタイミングで下船したため、混雑状況は分からないが、スペースにゆとりがあり、下船口からの動線なども広くスペースがとられていて移動しやすかった。寄港地観光はしていないため不明。
28. 出迎いのイベントは無かったが、下船後には港に臨時の観光案内所が設置され、また、港と駅には誘導の係員が配置されており観光への移動がスムーズにできた。
29. "上屋に十分なスペースがあり、観光案内所も広く、物販も多種多様な品揃えである。お土産を忘れても安心と感じる。シャトルバスについて県が用意した者に加え、民間シャトルが準備しているシャトルもあり輸送力が確保されていると思う。シャトルバスが到着する五日市駅にも観光案内所が設置され、特に英語通訳はその旨がわかるビブスを着用しており、外国人旅行客に親切。五日市駅は頻繁に電車がくるため、市内及び宮島へのアクセスは良好。宮島は再開発中とのことであるが、あまり感じさせない施工方法である。ソーラスフェンスをクルーズ船近くに移動させることによりお見送りをしやすい環境を作り出していることを帰って参考にしたいと考える。"
30. "仮設ではなく恒常的な建物あり。数年前に宮島へ旅行したことがあったため、今回は呉市の「大和ミュージアム」と「海上自衛隊呉資料館(てつのくじら館)」に行きたいと思っていたが、寄港日である火曜が定休日であるため観光できず、とても残念だった。結局、宮島に行ったが、改めて魅力的な観光地だと思った。ふ頭では、物販出店者が多く、にぎわっていた。"
31. 貨物上屋とはいえ、恒常的な建物がしっかりとあったので、仮設テントを使用している金沢港と比較しても良いと感じた。また、上屋での物販業者の数が大変多く、にぎわっている印象を受けた。観光地としては、自分は

初めて広島に行ったが、宮島が素晴らしかった。

32. 歓迎イベントが無く寂しく感じた(港の歓迎ムードが寄港地満足度に直結するということを実感した。)。しかし、観光地(宮島、原発ドーム等)は距離的に港から行きやすいところにあり、コンテンツとしてもとても魅力的であった。大変満足することが出来た。

"北九州(ひびき)港での感想(港・ターミナルの施設評価、乗船時・寄港時対応の感想、観光地としての魅力など)

1. ひびきターミナルは、広大なコンテナターミナルでありながら、利用が低迷し苦しんできたが、ココに来て、クルーズ船も定期的に入るようになり、その利用価値が高まってきたといえよう。岸壁では、テントが張られ、御土産物やフード店が用意されていた。ひびきは、市内までの距離があり、便利は悪い。そのためシャトルバスが用意されるわけだが、無料ということもあり、乗客は、シャトルバス乗り場に群がり、長蛇の列。炎天下で1時間以上並ぶのは過酷。整理券を配り、順番に案内するなどすれば、待ち時間に、買い物やフードを食べるなど、消費効果もあると思われる。門司港レトロを訪問したが、雰囲気もよく、訪問する魅力は高い。
2. 焼きカレーはおいしかった。ちょっと高い(観光地料金)けど、ボリュームがあっってお腹がいっぱいになれたので、まあいいか。小さなエリアだけど、空間が広くて、開放感があってよかった。
3. 幼稚園児のお出迎えパフォーマンスがとてもかわいかった。また、盆踊りの催しなど、イベントをやってくれていたが、乗船客の参加はそれほどでもなかったように感じる。(私は参加し楽しみました。)市内からの便が悪く、港の周りには何も無いのがネックである。そのため、シャトルバスは、とても混雑しており、一部はクレームになっていたようだが、無料というのはやめるべきである。
4. ひびき港はアクセスにはあまり恵まれているとは言えないものの、観光には恵まれており、オプションツアーなどではキャンセル待ちも出るほどだったようです。初寄港の歓迎行事には感動でした。
5. 関門海峡をくぐったのを船から見た後に、また別の角度から大橋を見ることができるので思い出を増幅できる。門司カレーを食べた会場の雰囲気が素敵だった。
6. 北九州はとても手厚い歓迎をしてくれた印象。特に出港の際の花火はとても感動した。クルーズ船から花火を独り占めする体験はとても特別感を得られるものであった。また、関門海峡をくぐる瞬間や瀬戸内の島々を見ながらのクルーズは今回のクルーズの中で一番クルーズしてるなと思える瞬間であった。
7. 小倉に住んでいたこともあり、市街地から遠い響灘地区なのか疑問に感じた。歓迎イベントに工夫が見られた。Bonjovi の音楽で盆(Bon)踊り。日本文化と外国文化のちょっとした工夫で楽しめる企画ができるものに関心。
8. 乗船時・寄港時ともに、華やかな歓迎だった。特に離岸後の花火は印象に残った。一方でコンテナターミナルが係留岸壁だったため、景観的にはいまいちな感じだった。また、門司までバスで1時間程度を要し、移動時間にしては長く感じた。しかし、門司は観光地としてレトロ感や地元の食(焼きカレー)等、魅力を感じた。
9. "ターミナルはありませんでしたが、盆踊り会場、縁日のような物販スペースなどとても工夫されていて、楽しい雰囲気を感じました。帰船時には盆踊りも開催されとても楽しく良い雰囲気でした。中心地までは専用バス

で移動しましたが、かなり遠いと感じました。"

10. "・シャトルバスを待つ人が多く、市街地に出ることを諦める人が出ていた。出港の時間が遅く、送迎の人はほとんどいなかったが、花火が上がったため、特別感があった。宗像大社、門司港レトロ、小倉の市街地等、寄港時間によっては魅力的である。"
11. 北九州(ひびき)港に寄港した後の観光地までの距離が遠く感じた。観光地である門司港レトロまでがバスで40分程度の移動となると不便さをまずはじめに感じてしまう。門司港がクルーズターミナルとしてさらに機能すればターミナルと観光地の導線が非常に短くなり、観光地として、クルーズターミナルとしての魅力が増してくると感じた。
12. 北九州からの乗船で、ひびきコンテナターミナルという名前からイメージしていたが、クルーズに乗船するイメージとかなり乖離がある印象である。また、自治体が手配されていることから限度があるとは思ものの、小倉駅からシャトルバスに乗車したバスが路線バス仕様なので大きなスーツケースをもっている客には不親切と考える。顧客目線に立った場合、途中乗船時には船会社側も配慮すべきところで、クラスによればツアー代金に含めても問題ないのではと思う。
13. 物流用岸壁での接岸であり、仮施設での設営ではあったが、迎客イベントの充実度は、旅行中で最もよかったと感じた。居住地に近く、慣れ親しんだ地域だったことから、観光地としての魅力については、特段の感慨は湧かなかったが、寄港時間も長く、下関や福岡市への遠出も可能であり、クルーズ寄港地としての魅力は十分に備えていると感じた。また、出向時の打ち上げ花火は感動的だった。
14. "突端側に既に貨物船が着岸している状態で山越しで着岸させていたことが印象的であった。客船の操船能力の高さを実感した瞬間であった。ターミナルから小倉駅までのシャトルバスが出されていたが、約35分かかるとは多少ハンテと感じた。"
15. 物流岸壁にテントでの対応だったが、盆踊りの櫓を組むなど、地元としてのおもてなしの気持ちが伝わる対応だった。旅客ターミナルは、立派で機能的であるに越したことはないが、旅客の滞在時間はほんのわずかなので、旅客の満足度を高めるためには、ターミナルの対応にはストレスがない程度であれば問題なく、いかに地元のおもてなしで旅客に楽しんでもらえるかが大切なんだろうなと思った。
16. "コンテナターミナルの岸壁に着岸したが、周辺のガントリークレーンなど工業都市としての趣があった。また、着岸や離岸時の歓送迎の催しは他港と比較し、特に力を入れている印象を受けた。シャトルバスの情報(発着地や運行時間)が錯綜して混乱していた。シャトルバスが運行している主要駅(小倉駅)まで距離があり時間を要した。また、出港時間に対し、シャトルバスの最終時間がかなり早かった。一方小倉駅からは様々な観光地へのアクセスは良い"
17. 港では、岸壁付近までおもてなしの店などが並んでいて、楽しい雰囲気であった。周囲はガントリークレーンなど物流関係の機材等も多く、コンテナターミナルを利用して、クルーズを受け入れているという点は、油津港にも共通する点であり、参考になると感じた。
18. ややバースから市街地まで距離があると感じた。シャトルバス乗車まで40分並び、北九州市内でのアポイントメントに遅れてしまった。北九州も世界遺産に登録された八幡製鉄所などインバウンドにも一定意味合いが分

かるコンテンツや、門司港レトロなど日本人に人気の観光地などが近接していてよい寄港地だと思う。個人的には博多には行き飽きているので、今回北九州に寄港できて嬉しかった。また、広島から一晩で趣の異なる観光地に行けるという点で、日本の地域性の多様さとクルーズの相性の良さを感じた。

19. 物流港であり、見た目・施設はそれなりという印象であった。今回寄港した他港に比べるとおもてなしブースがかなり充実しており、テントの数が多かった。おもてなしブースが充実していたからか、船員の姿も多く見られ、ビールを飲んだりしてくつろいでいるのが印象的だった。船員へのおもてなしという点では見習うべき点があるように感じる。北九州港から乗船のため、観光地視察は行っていない。
20. 下船後すぐ、荷役が行われているのが見えるのは魅力だと感じた。様々な港がクルーズ専用バースを整備する今の流れではなかなか見ることができない光景なので、ぜひ残してほしい。物販や盆踊りイベントも時間があれば参加したい。門司港レトロはいい雰囲気の良い場所であったが、お昼ご飯を含めると 2 時間以上の自由時間は必要だと思う。
21. "着岸時には、岸壁から緩やかな BGM が流れ、着岸後には、地元高須幼稚園児による鼓笛隊のマーチングバンド演奏とソーラン節演舞を披露してくれた。園児たちのお迎えは、とても可愛らしく微笑ましかった。また岸壁では多数の屋台・飲食ブース・物産品販売が設けられ、盆踊り大会も行われており、ゆるキャラ「スナ Q」も岸壁に登場するなど、地元の方々と一体となって歓迎されていると感じた。船客、クルー共楽しめるイベントを考えており、大変楽しいおもてなしであると感じた。普段はコンテナターミナルであるため、客船入港時のみテントを設置し受入されるため、荒天時は大変だろうと思った。門司港レトロ等の観光地まで車で約 1 時間というのは少し時間がかかるが、九州だけでなく山口まで足を運ぶオプションツアーも催行されていたので、広い範囲で観光ができる寄港地であると感じた。出港時の打ち上げ花火は感動で、心に残る出港となった。"
22. 北九州から乗船したが、出店が充実している印象を感じた。また、音響も広く設置しており、船上からも良く聞こえた。出港時には祇園太鼓のほか花火も上がり、おもてなしに力を入れているのを感じた。
23. 北九州は意外と観光資源に乏しいというのが率直な感想です。
24. まず最初にガントリークレーンの近くに客船が着岸することに驚いた。また、出店の多さにも驚いた。アジアのお客さんが多い為なのかキャッシュレス決済が浸透していることが気になった。
25. 回答無し
26. "コンテナターミナルがとても広い。九州は博多以外にもこんな大きな港があるのかと驚いた。おもてなしは、盆踊りやぐらやキッチンカー 4~5 台、その他の屋台がありにぎやかだった。また、出航時には花火がありかなり盛大だった。"
27. 途中下船のため、該当しません。
28. 港では到着時に、幼稚園児によるマーチングバンド、よさこいでのお出迎え、出発前には乗船客も一緒に盆踊り、小倉祇園太鼓と花火でのお見送りがあり、寄港地としてのおもてなしと歓迎ぶりに感動した。ただ、乗船客には事前に周知されていなかったのが残念であった。
29. "到着歓迎が、幼稚園児によるマーチングバンドとよさこいで、非常に楽しい気分になる。また、ギャングウェイからターミナルの出口まで屋台が並び、大変賑やかである。視察に訪れた門司港レトロ地区の時間帯が可動

橋が開く時間であり、良いタイミングに来れたと感じる。ふ頭に戻ると盆踊りをやっており、地元とクルーズ客が非常に楽しそうに踊り盛り上がる。最後のお見送りの花火に圧倒される。"

30. "門司・巖流島・下関をフェリーでまわった。なかなか巖流島を訪れる機会はないので、今回は大変いい機会となった。盆踊りのやぐらが設営され、屋台のようにキッチンカーも出ているなど、ふ頭自体がお祭り会場のよう仕立てとなっており、乗船客にそこで楽しんでもらいたいというおもてなしの気持ちを感じた。"
31. ふ頭が全体的にお祭りのような感じになっていて、とても楽しそうな雰囲気だった。キッチンカーなどテント経費を節約できるので、ふ頭を盛り上げるために良いと感じた。観光地としても、門司と下関が船で結ばれていて大変近かったのも、まわりやすかった。
32. 園児の歓迎イベントや、出店などで港がとても賑わっておりとても良かった。出店ではアルコールも提供されており、港でゆっくりしている方が多くいた。その場で食事ができる飲食店の出店が多く、お祭りのような雰囲気であったことがとても印象に残った。出港時間が遅いにも関わらず、花火を打ち上げることに驚いた。花火は強力なおもてなしツールであることを改めて実感した。

"釜山港での感想(港・ターミナルの施設評価、寄港時対応の感想、観光地としての魅力など)"

1. 釜山港は、湾内のクルーズバースに着岸。コンパクトな CIQ 施設があり、効率的。ただ、駅は見えるものの、遠く、公共交通も無く、不便。シャトルバスが用意されたが、近いにもかかわらず、15 ドルと高額。集まったのタクシーが便利で、中心街まででも 1000 円程度。BPA の御厚意で、定期船が発着するターミナルを見学した。ターミナルは何回も来ているがいつも大きさを実感する。3 階には、大きなコンファレンスルームがある。交通が不便なので利用されていないのではと思ったが、6 割程度の稼働率とのことで、安心した。定期船が毎日多数出るため、ターミナル施設の意義はあると思うが、通常の港には、この様なターミナル施設は不要だろう。
2. 楽しい。外国人として免税で買い物するのはお得感があって、より楽しい。ラインの大きなぬいぐるみはとてもかわいい。食事もよかった。
3. 日本の港と比較すると、おもてなしなどはないが、それだけ多くの船が来るということなのであろう。おもてなしなどのイベントがなくとも、スムーズな乗船下船ができれば満足度は高いのかもしれない。釜山から物資をたくさん積んでいたのが印象的であった。
4. ターミナルは良く設計されていて、感心してしまいました。観光地へのアクセスもよく、またクルーズ船の近くの地元の方による物販ブースでは、日本円キャッシュ、クレジットカード、日本語対応ということでもとても便利で、そのせいか多くの乗船客が買い物を楽しんでいました。
5. ターミナル内に国際会議ができるだけの設備一式があり、IR の参考にすべきと感じた。釜山は唯一の外国寄港地だが、カジノや免税品ショッピングの関係か寄港時間が短すぎるのが残念だった。早朝着か深夜発にして、現地の見学や観光を楽しめるような時間帯であればよかった。
6. 今回寄港した港の中で一番大規模かつ多くの投資が行われている港だなと感じた。特に港を港としてだけつかうのではなく、国際会議場としても活用しているのは現状の日本にはあまりない取り組みだなと感じた。また、プサンにおいて多くの物資が供給されていたことが印象的であった。プサン港は旅客だけでなく物流も集中し

ている港であるからこそできることなのかと感じた。

7. まずは、巨大なターミナル施設が目に入る。日本国内でも設置したい。着岸後、食材が船内に積み込まれていた。料理長が直接、食材を確認している姿が見られ、日本でも安くスムーズに調達できるようにならなければと考えた。
8. 釜山港は単にカボタージュ規制により、寄港しているだけであると同時に、最近の日韓情勢から寄港地としての歓迎は全く感じられない。また、寄港時間が短かったせいか、まち自体の魅力もあまり感じる事が出来なかった。一方でターミナルは大きく、きれいで受入施設としては良いと思う。
9. "・新設されたターミナルでしたが、シンプルで利用しやすいと感じました。寄港地での歓迎や見送りはありませんでした。観光地までのアクセスは最寄り駅まで長距離を歩く必要があり苦労しました。韓国料理がおいしく、免税店での買い物もしました。"
10. "・ターミナルは十分なスペースがあり、スムーズに入国できた(大きな港であったが、他のフェリーのターミナルと住みわけができていた)。市街地と港が近く、タクシー利用もためらうことがなかった点は立地の良さを感じた。"
11. 現在フェリー専用として利用されているターミナルの規模、世界観には圧倒された。韓国国内ではターミナルを集約している(国家プロジェクト)からこそ大規模なターミナル建設が可能なのだと思うが、やはり日本の港と比べて一目瞭然であった。離岸時は日本に比べて催しもなく、あっさりしていたのは少し残念であった。
12. ターミナル自体は、MICE 機能もかなり立派なものであったが、ターミナルの位置が大型船から離れており、素通りすることが多いので、本当に有効活用されているのか分からない。常設の CIQ 施設をクルーズ船近くに設置するなど苦労している感じがする。また、周辺の海上も埋立造成していたようだが、現在の旅客数の伸びやそもそもターミナルの位置を定期船を前提にしているため、今後、周辺まで一体開発し拡張できるのか注目したいと思っている。
13. 釜山は、アジアの物流拠点化に成功した都市との認識していたが、旅客施設もさることながら、物流用岸壁や施設の規模の大きさには驚かされ、日本の港湾の手遅れ感は否めない(差が埋められない)現実を感じた。寄港時間が短く、観光時間が実質2~3時間程度しかなかったため、街の魅力を味わえる時間が無かった。
14. ターミナルを視察させてもらったが、空港並みで圧倒された。およそ日本のターミナルとは比較にならないほど立派と感じた。ただし、岸壁から遠いことはネックと感じた。また、おもてなしについては、日本の方が一生懸命と感じた。シャトルバスも有料(16ドル)であったことが印象的だった。
15. メインターミナルでなく、サブターミナルの利用となった。マルシェでは十分な程度の地元のお土産を買うことができた。岸壁の脇に駐車場のような区画を設けたキャンピングスペースが設置されていたのが珍しかった。メインターミナルは、十分な広さでコンベンション施設や展望台なども備えていたが、唯一の食堂はハングルでの表記が主で、食事の提供を受ける方法が難しかった。
16. 立派なターミナルを有しており、ターミナル内では国際会議が開催可能はスペースや展望台等があり、施設案内は多言語対応しているなど、国を挙げてクルーズ船の受入れ態勢を確立している様が受け取れた。ただ、ターミナル内は視察した時間帯のためか施設の規模に反して閑散としていた。

17. 釜山港は、港の規模が全く違うと感じた。クルーズ受入れのためのターミナルも岸壁も複数あり、CIQ のための設備も充実していた。また、周辺の貨物船等の数も非常に多く、錨泊している船も多かった。クルーズの受け入れのための体制が非常に整っているという印象であり、貨物との共用で受け入れている油津港にはあまり参考にならなかった。
18. バース・ターミナルから市街地が近く、利便性がよい。入国審査は多少緊張したが、ターミナルの職員もとても親切だった。看板や標識、お店のメニューなど、英語・日本語表記されていないところもあったが、案内所の職員が丁寧に教えてくれるため何とかなるという印象を持った。今回は寄港時間が短かったため、船内の観光案内者のお薦めでツアーに参加した。行き先は買い物と市場見学、ランチのみだったが、ガイドが韓国文化などを色々説明してくれたのが良かったし、出港に間に合わないという不安を頂かなくて良い点で、ツアー代金を払った価値はあると思った。
19. 寄港時の対応はスムーズであった。港の規模もさることながら、ターミナルも立派な建物であり、広々としていた。特に事前調査もせずに釜山を観光したが、釜山タワー、チャガルチ市場、ピフ広場を訪れ、韓国の雰囲気を楽しめた。食べ物もおいしく、港から観光地までのアクセスも良好であるため、クルーズ船で立ち寄れる場所としてはとても魅力的だと思う。
20. 釜山港はタクシーやバスが目の前まで入ってこられるのがいい。しかしタクシーの客引きがあるので、日本人は少し驚いてしまうのではないだろうか。観光地はとても近く、買い物にも便利。個人的には韓国は買い物と食を楽しむにいく場所なので、十分楽しめた。
21. 船で釜山を訪れるのは初めてで、港の大きさや遠くに立ち並ぶ多くの高層ビルには圧倒された。着岸した第2ターミナルでは、入出国審査とも待ち時間なくスムーズに行われた。入出港とも歓送迎イベントはなく岸壁は寂しく感じた。広大な敷地のバス駐車場が完備されておりスケールの大きさを感じた。視察で訪れた第1ターミナルは空港のように大きく、施設も充実していた。一度説明を聞いただけでは場所が把握しきれない部分もあったが、全てが大きく広い分、案内表示も大きくて分かりやすかった。クルーズ客船の大型化と寄港増加を想定して岸壁の再整備が進められており、韓国のクルーズ客船誘致への意欲を感じた。国際旅客ターミナルは、街中にも大変近く交通の便も良く、多くの船舶を見ることができるので、また釜山港を再訪したいと感じた。
22. クルーズ用のターミナルがすぐ近くにあり、スムーズに下船入国ができた。クルーズターミナルから1キロ程度離れたところに大型のターミナルがあるが、クルーズ用のバースから離れているためクルーズ用に建てたとのことで、もったいなさを感じた。クルーズターミナルから出てすぐ、物産展エリアがあるが、規模は小さく物足りなさを感じた。日本円でも対応してくれたのはありがたかった。
23. 短時間でしたが、街も港に近く、アクセスも良く、観光しやすい街でした。
24. CIQ を含め施設が整っており、セキュリティもしっかりしていた。日本の港にはあまり設置されていないが、免税カウンターも設置されており力が入っているなと感じた。
25. 回答無し
26. "2つあるターミナルビルディングのうち、古く小さいほうに着いたが機能的には十分だった。入管手続きは非

常に迅速。新ターミナルの見学があったが、規模が非常に大きく、レストラン、売店もあり空港のよう。歓迎行事はない。国鉄、地下鉄の釜山駅は10分程度歩く必要があり、天気が悪いときは徒歩移動はたいへん。"

27. 途中下船のため、該当しません。
28. 市内中心部までのシャトルバスが運行されて便利ではあったが、乗船客の年齢層から海外での自由行動には不安な方も多くあり、寄港地観光ツアーコースを充実させることが必要と感じる。(慶州日帰り観光など)
29. "釜山国際クルーズターミナルの沖側にあるNo.1バースに着岸。メインターミナルから離れていると聞いてたが、こちらのバース用に建物が整備されており不便は感じない。船会社が釜山駅までのシャトルバスを往復16ドルで(約1750円)発売したが、釜山駅までの近さを知っているので、その値段の高さに驚く。しかも、メインターミナルと釜山中心街を結び循環シャトルが1000ウォン(約100円)で運行されていることを後で知る。メインターミナルでポケットWiFi1日3200ウォン(約300円)をレンタル。1日限定のsimカードも3ドル(約330円)から5ドル(約550円)で販売されている。国際フェリーが毎地寄港するため、このような店も展開できるのかと思慮。出港が14時のため、ターミナルからチャガルチまで散策する。ターミナルから釜山駅まで徒歩10分、そこから地下鉄で色々いけるため、国際ターミナルの立地場所としては良い位置だと感じる。お見送りは無し。カボタージュ制度で寄港がある程度確保されている港の対応としてはこれが世界的標準かと思う。"
30. "ターミナル等の施設整備はさすがのひとこと。日本語による案内が充実している点も印象に残った。滞在時間があまりなかったため、観光はチャガルチ市場をかるく通っただけだが、昼食の焼肉は安くて美味しかった。"
31. ターミナルが大変大きく、アジアのクルーズ拠点港だなあと感じた。コンベンションを行える会議室も大きく、しっかりとハードが整備されていた。市内の観光地については、あまり回る時間は無かったが、本場の焼き肉を食べることができたので、いい経験になった。
32. バス駐車場がとても広い印象を受けた。視察したターミナルのスケールが大きく驚いた。海外においては、フリーの乗船客は有料シャトルバスを使うほうが手っ取り早く観光地へ行けるため便利と感じた。土地勘も無い外国ではそれ以外の方法で観光を楽しむのはハードルが高いように感じた。

"舞鶴港での感想(港・ターミナルの施設評価、下船時・寄港時対応の感想、観光地としての魅力など)"

1. 舞鶴港は天然の良港であり、舞鶴湾では狭い航路をクルーズ船が進み、ダイナミックな港へのアプローチが体験できる。あまり知られていないが、日本でも有数の入港シーンが味わえる。船の先端のデッキも開放され、乗客もこの風景を楽しんだ。舞鶴では入国となり、CIQを受けることになる。船内で、「CIQが混みあっているのでゆっくりと降りましょう」という案内がながれていたためか、下船後はスムーズに入国できた。子供たちのウエルカムダンスもあり着岸後楽しい雰囲気にも包まれた。おもてなしはうれしい。京都府と舞鶴市の御厚意で港周辺を視察をさせていただいた。とれとれセンターでは、新鮮な魚を味わった。その場でさばいたもの、焼いたものを食べれるのは、臨場感があり楽しい。その後も、引き揚げ記念館や、展望台、赤レンガ倉庫を回った。赤レンガ倉庫では、自治体関係者で情報を共有するフェイスカッションも行き、大変充実した研修となった。出

港が深夜になったこともあり、御見送りはなかったが、プロジェクターで、メッセージを流してくれたり、関係者が深夜まで見送ってくれたりしたのはうれしかった。

2. 海軍と引き揚げの街はユニークだった。小・中・高校の教育旅行によく使われそうだが、意外にクルーズの寄港地旅行でもいいかもしれない。自衛隊の見学ができればもっと楽しい。
3. 幼稚園児のおもてなしダンス、高校生が企画したお菓子福袋の販売など、地域との密着が高いことを感じた。入国審査もスムーズであった。タワーや引揚記念館、倉庫などに連れて行ったもらったが、他の乗客とであることは少なかった。
4. 海外からのゲストには舞鶴=Kyoto というイメージで山を越えて京都観光というニーズも高そうですが、フィヨルドのような地形、徒歩圏内に海鮮の市場があったり観光地としての魅力も大きいと再発見でした。引揚記念館も多くの若い人に行って欲しい貴重な場所だと思います。
5. 日本のフィヨルドと聞いていたとおり、入港前の景色が素晴らしく、また新たなクルーズの魅力を感じることもできる寄港地であった。入港の仕方も特殊な方法だったらしくクルーズマニアにも満足度の高い港なのでは。
6. 舞鶴では入国手続きがあったため、ターミナルが混雑していた印象であった。しかし、空港での入国手続きなどに比べ、スムーズに進め、対応もすごく丁寧でとても良い印象を抱いた。舞鶴港から起因する問題ではないと思うが、舞鶴から船に乗船する際、乗船者名簿に私の名前がないと言われ、乗船するのに少し手間取るといったことがあった。同室の方が舞鶴で下船したことが影響しているのかもしれない。
7. "東、西2つの顔。西港は中国、韓国、ロシア等外国貿易港、東港は近畿圏と北海道を結ぶ長距離フェリーを中心とする国内貿易港。引揚港(ロシア抑留)など少ない観光資源でも来訪者にはしっかり歴史をつたえられるよう日々努力していることに関心。"
8. 係留施設前面の水域が狭いため、着岸までに非常に時間を要した。下船時・寄港時の歓迎は派手ではなく、施設も倉庫の一部を活用していたものの、地元学生も含め、地域一体での取り組みや一生懸命さが伝わってきた。しかし、舞鶴自体、魚等の産物は満足できたが、観光地としての魅力はもうひとつ。どうしても京都に観光に行くのは仕方ないかもしれない。
9. "・舞鶴港の入港時の景色は素晴らしく、とても魅力的だと感じました。主要な観光地までは多少距離があるため、二次交通手段に工夫が必要だと感じました。観光地は港周辺でもレンタカー等があれば市場や赤レンガ群など魅力的な資源があると感じました。出港時間が夜に設定されており、実際には巡っていませんが、京都市内や伊根の舟屋まで足を伸ばすことができるととても魅力的だと考えました。"
10. "・舞鶴湾はリアス式海岸になっており、船で進入中の景色を楽しむことができた。3~5歳の幼児のお出迎えや、高校生が物販をしている等、地元一体となった歓送迎がよかった。歴史のある舞鶴市に港があることに加え、日本のほぼ中心に位置し、釜山や極東ロシアに近接する立地は、クルーズ船寄港地として魅力的である。"
11. 舞鶴港へ寄港するまでの狭い舞鶴港クルージングは圧巻であった。軍港として栄えたということもあり、戦中、戦後の歴史を味わうことができる街でもあった。ただ魅力的な場所が点在しているということもあり、観光ツアーを組まないとなかなか回りきることができないと感じた。
12. 舞鶴へ入港する時のクルーズからの景色は、自然に入り組んだ地形がみられ大変すばらしい。行政の方にご

案内いただいたが、海産物も豊富なことや引き上げ記念館、レンガ倉庫、自衛艦など想像より見どころがあると思う。京都市内も比較的近いということもありオーバーナイトや中京圏からの乗船客が増加しているとの説明があったが、今後のクルーズ産業の成長過程で大変重要な日本海側の拠点と感じる。

13. 現地に赴いたことで、リアス式海岸で天然の良港といわれる意味、舞鶴港が古くから港湾分野での知名度の高さの意味を理解できた。クルーズ船が湾内で転回する姿は圧巻だった。下船時に、外貨との両替機があったのがとても便利だった。最寄り観光地として、海鮮市場があったのはとても魅力的であったが、価格設定が観光価格で高めの設定だったのが残念だった。増税や物価高騰化する時代にあり“産地だからこそ、安く味わえる”という本質を提供する価格設定の方が、消費者の財布は緩む気がする。
14. 客船着岸時には、地元幼稚園児による歌や踊りが披露され、お金をかけずに、旅客に響くおもてなしを行っており、印象深かった。また、シャトルバスも必ずではないが、有料としている点も特徴的であった。
15. 出港時にオリジナルの映像を上屋に投影してお見送り。ほかでは見られない演出であり、自分たちのために手を掛けてくれているという気持ちになる。舞鶴の観光地では、赤煉瓦倉庫群が印象に残った。自衛艦が浮かぶ港と赤煉瓦倉庫との組み合わせは昔の日本のイメージとも重なり、それだけで画になると思う。海外からの客だけでなく、オシャレなイメージは、SNS映えを常に求めている若者にも需要がありそう。
16. 入り組んだ湾自体の景観が良く、着岸前から期待感が高まった。岸壁から主要駅までも近く、周辺の各観光地へのアクセスも良い。観光の核となるであろう世界遺産天橋立までは、私鉄でのアクセスとなるが、クルーズ船の乗客数に対して電車車両が1・2両編成であり大変混雑していた。天橋立周辺は駅舎、各建物は色彩など景観との調和に配慮されていた。
17. 下船後の CIQ 実施の建物までの移動式通路はいい案だと感じた。現在、上屋などを改修して受入れ環境を整備しているとのことであったので、参考にしたい。観光地としては、魅力ある場所が沢山あると思うので、どのような組み合わせでツアーを組んでるのか興味がある。
18. 舞鶴湾へ入港時の景色がとても素晴らしく、これだけでも立派な観光名所だと思った。正直あまり観光地としてイメージがなかったが、舞鶴湾の素晴らしい景勝地と引き揚げ地としての歴史、また海軍が開発を行ってきた街作りなど、多面的な魅力があり、すっかりファンになった。個人的には今回の寄港地の中で（意外性があったこともあり）一番印象に残った。子供たちの歌によるおもてなしも感動して思わず涙が出そうになった。舞鶴発の乗船客に駐車場を無料開放するなど、寄港地としてよく戦略が練られていると感じた。
19. 保育園児のおもてなしは、継続性の問題はあるかもしれないが、客としては単純にうれしいおもてなしであった。京都は中心部に有名な観光地が多数存在し、そちらに人が流れるのはやむを得ないと思うが、舞鶴にある観光地も、市担当者の丁寧な説明のおかげで楽しめた。観光地も見せ方次第で生きてくるというのを実感した。お見送りで動画を流すというのは、いいアイデアだと思う。
20. 下船時のおもてなしがすごくかわいらしかった。レンタサイクルやレンタカーが利用できるようになっているのはいいと思った。とれとれ市場は活気があり、港からも近いので、とてもいい。その他の観光地はターミナルからバスで30分くらいかかったので、レンタサイクル等で回れる観光地があるのかは気になるころだった。出港時のおもてなしとして、上屋にプロジェクターで動画を映す試みはとてもいい。当日の朝の映像も含まれてい

たので、当日編集が大変だと思う。

21. 自然に囲まれた長閑な雰囲気と魅力的な港であると感じた。入国審査もスムーズに行われ、不便さを感じなかった。本船下船口から旅客ターミナルまでの導線には、最新の伸縮式通路が設置されており、日差しはもちろん、雨風も凌げる仕様であり、多少の天候には左右されないのが非常に有効な施設であると感じた。入港時に本船がヘリパッドを開放してくれたので、美しい舞鶴湾への入港風景をより楽しむことができ、感激であった。下船時の可愛い園児のお出迎えは、北九州港に続き心癒されるおもてなしであった。シャトルバスで行ける西舞鶴駅にも案内ブースが設けられており便利であると感じた。
22. 入港時には、地元の幼稚園生によるマーチングで迎えられて、船上から見て微笑ましかった。子どもたちからのお出迎え・お見送りは喜ばれると良く聞かすが、やはりいいものだった。舞鶴下船のため、荷物を持って降りたが、下船の際止められ時間がかかってしまった。何で止められているのかの説明も無く少し不安感を覚えた。ターミナルにおいて入国管理・税関を実施していたが、スムーズにできていたのではないと思う。
23. イネなどの最大の観光スポットが離れており、アクセスが限られていたのが残念でした。ツアーに入るのがベストかと思いました。ターミナルは非常に風情のあるつくりになっており、和を感じるものでした。物販も充実していたと思います。
24. 施設がとてもきれいで所々に木材を利用しているのがとてもよかった。また、舞鶴では園児や学生が歓迎してくれて活気があった。夜のプロジェクションは、現場の人手が薄くなる深夜帯に少人数でも出来るお見送り方法として良いと感じた。
25. 途中下船のため、該当しません。
26. "貨物岸壁であり、クルーズ船用の施設はないが観光案内、両替、レンタカーなど必要な機能はそろえられている。幼稚園児の合唱の出迎えは評判がよかった。貸切バスで案内してもらい非常に便利だったが、シャトルバスはJR駅に出ておりJR利用の場合はどこをみるのだろうと思った。"
27. 途中下船のため、該当しません。
28. 途中下船のため、該当しません。
29. 途中下船のため、該当しません。
30. "仮設ではなく恒常的な建物あり。とれとれセンターでは、自分で選んだ新鮮な魚介類をその場で調理してもらって食べることができ、とても楽しく食事ができた。"
31. 貨物上屋だったと思うが、恒常的な建物があったので、仮設テントを使用している金沢港よりも良いと感じた。また、地元の高校生がスイーツを売りにきており、学生との交流の機会はシニア層に好評な印象を受けたので、良いと感じた。観光地としては、海と山が非常に近い印象を受けた。
32. CIQ手続きは下船後、上屋にて行われたが、とてもスムーズに行われていたと感じた。ターミナルでの物販は最小限というイメージ。ターミナル内にパイプイスは多数置かれていたが、ゆっくり休憩という感じではなかった。観光地である橋立を視察したが、やはりコンテンツとしてとても魅力的であり、クルーズ乗船客も多かった。

"金沢港での感想(港・ターミナルの施設評価、下船時・寄港時対応の感想、観光地としての魅力など)(舞鶴港下船者を除く)"

1. 金沢港では、遠い方の港に着岸した。バスで、老舗のしょうゆ味噌のお店で、こだわりの話を聞き、その後、車窓から、新しいクルーズターミナルを見学。総工費 90 億円。有効活用が出来ると思いたい。その後、兼六園を散策し、解散。御当地ラーメンを堪能した。帰りは、シャトルバスに乗るために、駅前に着たが、長蛇の列。ちょうどピークだったようだ。断念したタクシーにしてしまったが、並んでいた人に寄れば、30 分ほどで乗れたようで、まあ、許せる範囲。御見送りも、多くの人が踊りで見送ってくれた。「さようなら、また来て」という声援は、記憶に残るシーン。
2. 兼六園は、初めてで、一度行って見たかったのでよかった。醤油工場も楽しかった。体験型はいい。もっと時間があれば、もっと楽しめたかもしれない。
3. 新しいターミナルの建設中ということで、簡易なテントなどでの対応であったが、これでも十分な感じがした。毎回テントを立てることは、コスト、安全性等、問題もあるが、乗客の満足度はそれほど変わらないのではないだろうか。兼六園、商店街など、見所がたくさんある金沢、コンパクトな行動範囲で十分に堪能できるのが魅力であろう。
4. 金沢港はアクセスもよく、観光資源にも恵まれ、リピーターにも魅力溢れる場だと改めて認識しました。東京からもトレイン&クルーズでより魅力をアピールできそうです。
5. 途中下船のため、該当しません。
6. 金沢港は、下船したところのテントがカラフルで印象的であった。今後できるクルーズターミナルもとてもきれいな建物で、完成したら是非行ってみたいと感じた。観光面では金沢はとても完成された都市であるなと感じた。多くの有名観光地が密集しており、そのどれもが観光客を取り込む商品戦略や設備を備えていると感じた。特に金沢駅は観光の起点・終点としてガイドやお土産も充実しており、率直にすごいなと感じた。
7. 途中下船のため、該当しません。
8. 船上からの港は殺風景であり、その中にパステルのテントが張られていたのは逆に違和感があった。観光地としてのポテンシャルは十分であるため、もう少し港の受入環境を充実すべきである。その点では現在、ターミナルを建設中とのことであるため、それに期待したい。
9. "・下船時の集合場所の変更など、下船に手間取った印象があります。ターミナルはなく、大型のエアータントでの対応でしたが、不便さは感じませんでした。観光地までは距離がありましたが、市街地まで行けばコンパクトにまとまっており、周遊観光がしやすいのではないかと考えました。"
10. "・金沢港から 30 分程度で兼六園、金沢城、ひがし茶屋街、近江町市場があり、立地の良さを感じた。来年完成予定のクルーズターミナルは、CIQ 機能の他にレストランや学習体験ルーム等の整備がされるため、クルーズ船対応時以外の活用を考慮した計画が優れているように感じた。"
11. 現在ターミナルを建設中ということもあり、臨時施設にての対応であったが、ターミナル完成後が楽しみである。観光地としても兼六園など魅力的な施設もある。港からの移動がタクシーかバスでとなるが市街地がそこまで離れていない(約 15 分程度)のも魅力の一つであると感じた。

12. 金沢港下船後に金沢駅までタクシー乗車した際に、運転手の方から話を聞くと、お客さんがほとんどバスに乗っていたので、早朝から2時間待ちとのこと。もっと待っているタクシーもいる。運転手の方曰く、客船タイプによってはタクシーが不足する場合もあるようだが、今回は全然だめとのこと。事前にタクシー会社にはクルーズが入港する日時の連絡や要請が FAX であるようだが、客層やどの程度のタクシー需要あるかは全く分からないようである。
13. 途中下船のため、該当しません。
14. 金沢も東茶屋や兼六園、近江町市場など、魅力的な観光地を持っており、魅力的に感じた。また、新たな建設中のターミナルを見せてもらったが、魅力的に映った。完成後は是非見学に行きたい。また、大型客船(22万トンクラス)の受入施設がないことも印象的であった。
15. 途中下船のため、該当しません。
16. 金沢市内に多くの観光名所が集積おり、その内容も職・歴史・文化・芸術等多岐にわたり、1回の寄港の限られた時間の中でも多くの箇所を回ることができお得感がある。国内外からの多くの観光客が見られた。金沢港で下船し、新幹線で帰路についたが、新幹線による東京までのアクセスの良さもあり、その組合せによるクルーズとの活用も今後拡大する可能性があると感じた
17. 途中下船のため、該当しません。
18. "・下船してすぐに日本を代表するような観光地が集積しており、国内有数の観光地である金沢のポテンシャルの高さを見せつけられた。港からもアクセスがよいうえ、食・文化・歴史・温泉といった重要コンテンツをすべてカバーしており、クルーズとの相性が極めてよいと感じた。日本海周遊のみならず、日本全体のクルーズ市場で重要拠点となる港だと思う。一点懸念をあげるとすれば、有名観光地であるがゆえの混雑が気になった。"
19. 現在整備中のターミナルは完成時に是非見学したいと感じた。港から比較的近い場所に全国的な観光地である兼六園等があるのは金沢港の強みであると思う。醤油蔵については、私の地域にも同じような施設があるが、担当者の説明が上手で、見習うべきであると感じた。また、兼六園のインバウンド客の多さに驚かされた。金箔ソフトなど、SNS 映えをして単価が高い商品は観光地が生き抜くために必要だと感じた。
20. 下船してすぐにタクシーに乗ることができる、バスも近いというレイアウトはとてもいい。金沢駅まで 3000 円かからずにいけるので、下船時にはかなりタクシーの利用があるのではないかと推測される。レインボーの膜のターミナルは見た目にもかわいらしく、写真を SNS にアップする人は多いのではないだろうか。金沢の日本らしいイメージとはギャップがあった。
21. 途中下船のため、該当しません。
22. 途中下船のため、該当しません。
23. 金沢で下船しましたが、ターミナルが簡易なものであったのが驚きでした。
24. CIQ 施設が色鮮やかで印象的であった。また、加賀友禅を着た女性たちはとても綺麗で目を引くものがあった。来年新しくオープンするターミナルがとても気になった。
25. 途中下船のため、該当しません。
26. "現在は貨物港にクルーズ船が着岸しているのでクルーズ専用施設はないが、機能的には大きな問題はない

と思った。現在大規模な専用ターミナルが整備中であり、金沢は新幹線の開通と相まって日本海側の一大拠点都市となると思われる。ヤマト醤油味噌は、観光客を呼び込んで誘導する手法が確立されておりよく考えられていると思った。"

27. 途中下船のため、該当しません。
28. 途中下船のため、該当しません。
29. 途中下船のため、該当しません。
30. 途中下船のため、該当しません。
31. 途中下船のため、該当しません。
32. 今年初寄港ということで船内で歓迎式典を行っていた。これも歓迎の気持ちの表れであると感じた。兼六園は観光客で大変賑わっていた。時間がなく、多くを見ることが出来なかったため、陸路でもまた来たいと思った。

"その他の港(秋田、青森)での感想(港・ターミナルの施設評価、寄港時対応の感想、観光地としての魅力など)"

1. 秋田・青森は、共通して、ターミナルが整備されている。いずれも新しく作られたもので、効率的なサイズであると感じた。秋田では、貨物駅が近くにあり、クルーズトレインというユニークな試みがある。送迎バスが有料だったこともあり、200 円ほどで乗れるクルーズトレインは大人気であった。また、ターミナルでイベントも数多く行われており、町でクルーズ船を出迎えることで、町全体が元気になっている気がした。青森でも、ターミナル内で体験コーナーやお土産物を買えるようになっていた。青森は街中まで歩ける距離であり、街歩きツアーも実施されていた。
2. 秋田はまさる。なぜまさるなんだろう？アウガはよかった。ここを本庁舎にすればいいのに。
3. 秋田のクルーズ列車は、とての楽しくワクワクな体験であった。民間事業者との連携など、勉強になることがたくさんであった。青森の新しいクルーズターミナルは、上が芝になっているのがとても良かった。また、街からの近さも魅力である。
4. 途中下船のため、該当しません。
5. 途中下船のため、該当しません。
6. 青森港について：青森港はハードの整備に現在注力しているのだなと感じた。その一方で、クルーズ誘致にかける人員などは不足しているなという印象であった。あれだけきれいな建物を作ったのだからもっと誘致にも人員を割いて取り組んでもいいのではないかと思った。青森港周辺にもねぶた博物館などの観光地はあるが、弘前などの有名観光地は少し離れているのが少しネックである。
7. 途中下船のため、該当しません。
8. 途中下船のため、該当しません。
9. 途中下船のため、該当しません。
10. 途中下船のため、該当しません。

11. 途中下船のため、該当しません。
12. 途中下船のため、該当しません。
13. 途中下船のため、該当しません。
14. 途中下船のため、該当しません。
15. 途中下船のため、該当しません。
16. 途中下船のため、該当しません。
17. 途中下船のため、該当しません。
18. (金沢で下船したため、写真のみの共有だが) 秋田港のターミナルと秋田犬によるおもてなしが素晴らしいと思った。
19. 途中下船のため、該当しません。
20. 途中下船のため、該当しません。
21. 途中下船のため、該当しません。
22. 途中下船のため、該当しません。
23. 途中下船のため、該当しません。
24. 途中下船のため、該当しません。
25. 途中下船のため、該当しません。
26. "秋田港は、他に例のないクルーズ列車がある点が非常にユニークである。基本的な機能に限定したターミナルの建物や有料シャトルバスなど過大な経費負担とならないように配慮した取り組み姿勢がうかがえる。青森港は、市内の施設はコンパクトだが、人気観光地は周辺の少し離れた所に多くレンタカーが便利だと思った。"
27. 途中下船のため、該当しません。
28. 途中下船のため、該当しません。
29. 途中下船のため、該当しません。
30. "秋田港で下船。新しく立派なクルーズターミナルあり。クルーズ船の乗船客のみが利用できるクルーズ列車に乗車した。港から秋田港駅までは徒歩10分。電車による移動で渋滞もなく、また秋田港駅には案内のための係員もおり、スムーズに秋田駅まで行くことができた。"
31. 途中下船のため、該当しません。
32. (秋田) あいにくの天気であったが、歓迎イベントを頑張っている姿に感動した。

"池田先生のプレゼンを聞いての感想"

1. 池田先生からは、ロイヤルカリビアングループ・ミレニアムを運行するセレブリティークルーズの歴史について御話いただいた。現在のクルーズは大規模装置産業と、緻密なソフトのサービスの融合である。これは歴史の積み重ねで出来上がったもので、すぐに作れるものではない。歴史では紆余曲折がありながら、今に至っていることが分かる。1990-95 ごろの船体拡大時と、今の時代を比較すると、競争も激しくなり、また、多様なサービスへのニーズもあり、いろいろなサービスを提供できる仕組みが広がっている。有料のレストラン、IT 化、

フリースタイルなど。

2. 池田先生のクルーズ好きが伝わってきた。好きな人から話を聞くと、楽しさが伝わってくる。クルーズは船で遊ぶことだということがわかった。
3. これまでのクルーズの流れを体系的に、特にセレクトリミニアムの歴史を知ることができた。池田先生の話の中に、「大型船は乗船客の選択枝の自由度を広げてくれた」との言葉が印象的であった。クルーズ人口を増やすための取り組みをする上でも、この言葉は重要であろう。
4. さまざまな歴史を知り勉強になりました。
5. クルーズブームの前からクルーズ船に乗られているだけあって、歴史的な視線のあるプレゼンであった。大阪港の話題も多く、見知った土地でも知らない点が多くあることに気づかされた。
6. 私用により欠席。
7. 太平洋フェリーの話があり、東日本大震災支援の際に名古屋～仙台区間で利用した。わずかな時間でも快適に過ごせ、ゆったりとした空間でリラックスできたことを思い出した。日本市場はまだこれから。クルーズ船は船社にかかわらず、船社がこぞって日本をターゲットにしてくれるようクルーズ振興に努めていきたい。
8. 話のテンポが良く、また内容も非常にわかりやすかった、また、今回のクルーズに当てはめることができことも良かった。これまで今回のような話を聞いたことがなかったため、非常に勉強になったが、時間がもう少しあっても良かったのではないかと感じた。
9. "・セレクトリミニアムをはじめとするクルーズ船社の創成期からの歴史的背景を伺うことができ、とても勉強になりました。クルーズ船大型化の歴史についても、先生が実際に撮影された写真も含め、貴重な資料を拝見させて頂き、勉強になりました。"
10. 参加していない
11. 参加していない
12. クルーズの黎明期からの成り立ちや歴史を簡潔にまとめていただき大変参考になった。また、多くのクルーズに乗船されており、基本的には食事が美味しい外国船籍のクルーズはあまりない、カリブ海のクルーズではどこの寄港地も似たり寄ったりのお土産や食事等で寄港地自体に魅力がある訳ではなく、本当の意味でクルーズ船上での時間消費を楽しむスタイルだと仰っていたことが印象的だった。
13. " クルーズ業界の歴史・変遷といった基本を学べることができた。当初“クルーズで、なぜ学会？”との疑問を抱いていたが、クルーズツーリズムを産業として学術的な視点で研究することで、観光産業振興、或いは、造船や港湾開発の関連産業など、船と港を起点とした産業発展が図れるという意味があること、加えて、人生の旅の選択枝(楽しみ)の幅を広げること、それを成すためへの手段としての意図があることを理解できた。池田先生が、話された『現代クルーズ＝気軽で、お買い得で、楽しくて、便利な旅』との言葉は覚えておきたいです。"
14. 参加していない
15. クルーズ船が大型化してきている、というのは良く聞く話だが、個別のクルーズ船社にフォーカスして、経済性と収益性を考慮して、会社の成功のために必要に迫られて大型化してきているというのは、分かりやすい説

明をして頂いた。一方で、現在でも乗客数500名程度のラグジュアリークラスは存在するが、これは今後、どのような形で経営がされていくのかについても興味が出てきた。

16. 参加していない
17. セレブリティクルーズの歴史やクルーズ業界の変革についてプレゼンして頂き、自分が乗っている船について理解を深めることで、研修においてより深い部分に視野がいくようになったと感じる。このようなプレゼンを聞く機会はなかなか無いので、良い経験になった。
18. 参加していない
19. クルーズ船担当になって数か月のため基本的知識が不足する中、歴史から学べたのはかなり参考になった。日本人のクルーズのイメージは、少し前まで私が抱いていたイメージそのものであり、それが現実であると感じた。私の自治体のクルーズ行政はクルーズ船の誘致(寄港数の増加)がメインであり、日本人へのクルーズ浸透は全く考慮していなかったが、クルーズが浸透すれば、結果的に寄港につながるため、検討の余地はあるように感じた。
20. これまでのクルーズの歴史を学ぶことができた。今のセレブリティの魅力について、以前のものと違いなどをわかりやすく説明していただけたので、今後の参考になった。中でも技術面については通常業務で関わることはないので、このような機会に教えていただけてよかった。
21. 昔の伝統的クルーズから現代クルーズへの変遷、クルーズの歴史を学ぶことができた。伝統的クルーズは、高齢の富裕階層向け、超高級レジャーで堅苦しい長期高価な旅行であったが、現代クルーズは、短期・安価・気軽に旅をすることができ、何よりも自身が楽しむことが一番の目的となっている。航海中に楽しむことは勿論、各港に寄港した際は、その土地の文化や食事なども楽しみであり、受け入れ側としては、お客様である船客に港や観光地をもっと楽しんでいただけるよう、努力しなければならないと感じた。
22. 私自身も、今の部署に配属になるまで、クルーズ=お金持ちの道楽という印象を持っていた。そういったものもあるが、商品が多様化し、安価なものもあり、施設も充実し、気軽に楽しい便利な旅というのをもっと広く知ってもらい、クルーズの振興に繋がっていかないといけないと感じた。
23. 全体のトレンドから歴史まで幅広く振られており、大変勉強になりました。
24. セレブリティ・ミレニアムの歴史やクルーズのビジネスモデルについて詳しく聞くことが出来る機会はなかなかない為、大変勉強になった。
25. 参加していない
26. "セレブリティ・クルーズが低価格のカジュアル船から始まっているとは知らなかった。セレブリティだけでなくクルーズ業界全体の発展の歴史がわかって非常にためになった。クルーズは、1960年代以降、マイアミを中心とした定点定期のクルーズから発展したとの話は、今後の日本でのクルーズ発展を考える上でも参考になる。"
27. 参加していない
28. 参加していない
29. "セレブリティ、ロイヤルカリビアン歩みを通じてクルーズの歴史を学ぶ。カーニバルの創世記に川重が神戸で行ったクルーズ船改修で40億円の赤字を計上して、クルーズ船から手を引いたが、ここで我慢しておれば、

という話が、印象にのこる。失敗に寛容で無い文化の結果か(40億損失の寛容さはさすがに厳しいが)。また、クルーズは定員の損益分岐点は定員の70%~80%を聞き、我が港に寄港するクルーズ船を思い浮かべると、クルーズ産業が伸びていく理由が理解できる気がし、納得する。なぜ、この産業の中に日系が入っていないのかという点を残念に思う。"

- 30. 参加していない
- 31. 参加していない
- 32. 参加していない

"クルーズ活性化会議プレゼン・パネル討論を聞いて(参加して)の感想"

1. 参加自治体からプレゼンを頂いた。時間も限られているので、詳細まで議論することは難しいが、このように参加自治体が、自ずから港湾を説明し、御互いに情報を共有する機会は、今後の日本全体のクルーズ振興に貢献すると思われる。受け入れ体制整備と、そのための財源など。持続可能な受入のためには、適切にチャージすることも欠かせない。シャトルの有料化やおもてなしの有料化など。
2. 2から3年で異動になるとすると、スペシャリストはどこにいるんだろう。素人の集まりだとしたら、ソフト的な取り組みは難しいだろうな。
3. 岸壁使用料の減免、シャトルバスなど、各港が抱えている問題が共通していること、そして、その問題が5年程度前から言われているのに、なかなか改善できないことを感じた。また、各港間で情報共有する機会が少ないことも感じた。今回のプレゼンや、パネル討論が有意義な場であることを改めて感じた。
4. 毎回思うことですが、本質的な意味でのネットワークを構築、情報(経験と知恵)の共有ができればさまざまな課題の解決が進みそうな気がします。
5. 各自治体の方が短時間ではあるものの自港の状況を説明されたので、コンパクトに理解できてよかった。難波さんの報告は、プロの投資家目線から船会社の財務分析をされていて経済学的な視点も多く勉強になった。
6. 時間的制約があるためしょうがないことではあるが、それぞれの発表者の発表時間が短いため発表から得られる知見がどうしても少なくなってしまう。一方で、今回のパネル討論会は短い時間ではあったものの各港がどのような取り組みを行っているのか理解できた。同じ質問に対して各港が自分たちの取り組みを答えるという形式だったことがよかったのかもしれない。
7. 自治体の取組や課題など参考にする内容がたくさん聞くことができた。勉強不足もあり経済効果についてもっと具体的に詳しく質問できればと反省した。
8. 「クルーズ客船誘致の現状と課題」については、各自治体が取り組んでいる現状や抱えている課題を把握できたことは良かった。港湾施設使用料やシャトルバス料金等のあり方は、減免・無料するのが本当に良いのか、改めて重要な課題であるとの認識を持つことができた。
9. "・各港のシャトルバスをはじめとするサービス対価の徴収に向けた実態を伺うことができ大変勉強になりました。共通の課題がある一方で、各港ごとに取り組み状況にも差があり、クルーズの受け入れ促進に向けて、オ

ーダーメイドの対応策が必要だと感じました。"

10. "・各港の現状、課題、魅力、誘致のための工夫(ツアー内容)等が把握でき、有意義であった。既に誘致実績がある港は、入港料やシャトルバスの有料化、クルーズ専用ターミナルの整備等、今後の運営に対する課題解決に向けて検討中であることがわかった。今後、具体的な解決策があれば、ぜひ教えていただきたい。"
11. 今回は限られた自治体の方のみの参加でしたが、クルーズを活性化そして普及させる為に日々絶え間なく努力されているのだとひしひしと感じた。自治体の方々もクルーズ船を誘致する為に船社への営業(PR)もされていると聞き、自治体の方々の努力などもあって周遊クルーズが組まれているのだと思うと、一味違った角度から乗船することができた。
12. 初めての乗船でクルーズ関連の知識がないため、自治体の方々が港での受け入れやお見送りなどの体制づくりや、地域の方々とのように経済効果を高めていくかなどの大変ご苦労されているのを聞いて驚いたとともに、税金を投入するという難しさ、単年度予算や定期的な人事異動などの要因もあり、自治体だけで継続してオペレーションしていくことは、率直に難しいのではと感じた。海外の自治体では、そもそも受け入れ等の対応は、実施しているのか、どのような対応や資金を捻出しているのかと思った。
13. 赤井先生のお話は、クルーズ産業の今までとこれからも含め、日本が置かれている状況や課題など、池田先生のお話と関連し、勉強になりました。また、各プレゼンでは、そもそも、港湾関係業界の皆様とは、初めてお会いする機会でもあったため、港湾設備の商品開発などの情報も含めて、新たな出会いと学びの機会となった。
14. 各港がそれぞれの課題を持っていることが確認できた。横浜は神戸と似た課題を共有していることも確認できた。また、シャトルバスや施設使用料について議論できたことが大きい。それぞれの考え方をしることができて非常に有益であった。
15. 受入団体の持続可能な活動のために、収入が支出に追いついていない現状は変えていかなければならないと思う。まずは、エクスクーシヨンの販売や地元食材の提供など、港がクルーズ船社から「寄港したい港」となることが大前提であること。そうであれば、港湾使用料などのコストを船社に負担してもらって交渉ができ、「寄港したい港」となるための投資が初めて回収できる。逆に言えば、効果の薄いなんとなくしている投資をいかに改めるか。シャトルバスの料金についても、船側としては安い料金だとエクスクーシオンが売れなくなって困る、というのはよく考えれば当然の話だが、何であれ行政は高い金額を提示するのを避けたがる一例で、無料での運行が常態化してしまっていると思った。よく考えなければならない。日本人のクルーズ利用を増やすための方策としては、チャータークルーズがハードルが低くて良いと思った。
16. 根本的な問題(予算確保、シャトルバス運営等)については、各港とも共通の認識を持っているとともに、課題も同様の内容が多いと感じた(日頃業務を行う上で、悩んでいる事柄が自分だけではないと分かり少し救われた思い)。一方、客船誘致の状況や乗客・船会社のニーズは地域ごとに異なるため、これらを的確に捉えて施策に反映していくことが重要と強く感じた。
17. 港の規模や置かれている状況等によって、今後の課題や取り組み方に違いはできるとは思うが、クルーズ受入活性化という同じ目的を目指す人たちで情報や取り組みの共有ができることは、非常に良い機会になった。

18. 全国各地の港の対応の詳細がわかり、非常に勉強になった。プレゼンのみでなく、パネル討論があったために、より各港が抱える課題について掘り下げて議論ができたことが良かった。また、自治体のみでなく民間やアカデミックな立場からのご指摘をいただけたことも非常に貴重な機会となった。
19. 各自治体で異なる事情がある中、それぞれが苦悩していることがわかり、少し安心したのが正直な感想である。特にシャトルバスの費用負担の話が印象的であった。私の自治体では寄港数増（船社に寄港してもらう）が課題という認識の中、船社等に負担を求めるのはあり得ないためである。また、他港は誘致に関してはある意味商売敵であると考えていたが、今後は意見交換や連携を図っていくようにしたいと感じた。
20. プレゼンで各港が抱える問題を共有することができ、同じような問題を抱える港の担当者と、食事の時間や移動時間等を活用した協議ができ、有意義だった。また、先進的な港が抱える問題を聞くことができたので、今後の改修などの参考になった。
21. 各港の特徴や取り組み、現状を知ることができ、港における経済効果・シャトルバス無料化問題・岸壁使用料等、各港が抱える問題も理解でき、大変有意義であった。各港に異なった特徴がありその特徴にあった工夫が凝らされていた。八代港での、優先的に岸壁を押さえていても RCL 社にキャンセルされる件については、何か解決策はないものか問題であると感じた。プレゼンを伺っていると、全ての港の観光地、様々な取り組みやおもてなしが魅力的だったので、是非実際にクルーズで訪れて、船上から歓送迎を受けてみたい、そして地元の方々とも交流したいと思った。
22. 多くの港がクルーズ専用のバース・ターミナルの整備が進んでおり、羨ましく感じた。また、各自治体の様々な取り組みを知ることができ、参考になった。油津港においても、
23. 民間の方やアカデミックの意見が大変参考になりました。
24. 寄港地、発着港によって注目する視点が違う部分があり、求めている物が異なると感じた。異なる中でも、シャトルバスに関しては各港似たような問題点、改善点を持っていると感じた。また、船社から求められている事と自治体としてやりたいことがうまく合致してないことが多く、結果的に船社からのクレームが発生することがあるのだと聞いていて感じた。
25. 参加していない
26. "民間企業の発表が数件あり、普段普通にしてはクルーズ関係の民間企業にはどのような会社がありどのような活動をしているかなかなかわからないので非常に参考になった。他港の行政による発表については、どこも船社訪問などのセールスに非常に力を入れていると感じた。"
27. 参加していない
28. 参加していない
29. 通常行っている業務と違った視点でクルーズの現状を勉強する。特に興味深かったのは、クルーズ船会社の株価や資産情報からの分析。内容は正直、難しい点もあったが、主要 3 社の、利益及びコストの構成内容、客の一人当たり売上単価を比較して分析は、今後、クルーズ会社の誘致にあたり、何に視点を向けるかの参考になる。例えば売り上げにおいてツアーが比較的比率を占めないのであれば、寄港後に地元がツアーを主催するという提案も積極的にできるのではと考える。兎に角、この様な分析の仕方がある、ということが新鮮である。

- 30. 参加していない
- 31. 他港の現状を知る良い機会になったと感じた。
- 32. 参加していない

"スマートクルーズアカデミー企画全般について【自治体関係者との交流、バスケットボール、勝手にフォーマルナイト、交流会）など】についての感想と今後の要望"

1. 今回は、学生の参加が 1 名だったため、アカデミーとしての学生と自治体の交流は無かったものの、港湾関係の民間企業からの参加が多く、自治体と民間企業という新たな交流も生まれた。学生はいなかったものの、バスケットボール大会も開催でき、また、フォーマルナイトも体験し、今後につながるよい交流が生まれた。継続していくことが、新たな価値を生むと思う。
2. 勝手にフォーマルナイトは、おしゃれを楽しんでいることが伝わってきて、たいしたおしゃれをしていない自分まで楽しい気持ちになった。
3. 少しおしゃれをしての勝手にフォーマルナイトなどは、写真を撮るだけにはなったが、クルーズ船らしい思い出となった。また、今回は自治体の研修クルーズの方だけでなく、PR として乗船されていた方もいらつしやり、夕食時のテーブルもオープンであったため、なかなか交流できない方もいたのは少し残念である。
4. 今回は学生の引率がなかったこと、乗船期間が長かったことから、スペシャルティレストランにもご一緒できたり、自治体その他関係者との交流が深くできたように思います。勝手にフォーマルナイトは好評だったように感じ、個人参加ではなく、このグループ参加ならではの楽しみ方だと思います！
5. 今回のレストランは照明や壁などはシンプルであったが椅子などの設備がゴージャスで、スプレントイダなどとはまた違った写真映えがしたので、勝手にフォーマルナイトの意義があった。
6. 今まで参加したアカデミーの中で、一番多く自治体関係者の方と交流することができた。ただ、その要因として今回は学生が乗っていなかったからということが大きいと感じる。いつものようなアカデミーを想定するのであれば、もう少し全員参加型のイベントがあってもよかったのかなとは感じる。勝手にフォーマルナイトはすごく一体感が得られるイベントなので今後も行ってほしい。
7. バスケットボールは下船準備で参加できなかった。交流会やフォーマルナイトなど、初乗船の私にとっては毎日スケジュール良く参加させていただけたことにとっても感謝したい。レストランでの食事会や交流会も含めて楽しむと同時に意見交換もでき、船内イベント同様、毎日楽しく過ごせた。
8. 今回が初めての乗船だったため、すべてが新鮮であり、楽しめたしかない。また、様々な方との交流ができ、情報の共有も図ることができた、また、企画は強い強制力がなく、自由度があったことも非常に良かった。一方で自治体関係者との交流では偏りがあったので（交流を図れた所とそうでない所の差があった）、もう少し交流が図れるような機会（企画）があれば良いと思う。
9. "・舞鶴港の赤レンガでの意見交換会など、交流や意見交換の機会が多く、とても勉強になりました。クルーズ船ではフォーマルが過ごしやすい（似合う）空間や時間帯も多く、フォーマルナイトの企画などとても面白かったです。スシオンファイブ等のスペシャルティレストランやバー等での交流も、普段できない体験ばかりでした。寄港地での国・自治体をはじめとする方々のサポートによる寄港地視察はとても手が込み入り、プライベートで参加した場合には体験できないことが非常に多かったと感じています。"
10. "・各自治体の方にご説明いただき、港の概要を理解できたため、寄港地の見学は充実していた。舞鶴での意見交換会では、より具体的な各港の特色や課題等についてディスカッションできたため、有意義であった。ディスカッション形式であったため、質問の出やすい雰囲気良かった。"

11. 普段仕事でお会いすることができない様々な自治体の方と交流することができ、大変貴重な機会となった。勝手にフォーマルナイトでは、他のお客様より「今日、フォーマルないとでしたか!？」などとお声がけされることもあり、他のお客様からは一目置かれる集団となって、良い試みだったのではないかと感じた。
12. 実質 3 日間の参加でしたが、寄港地での自治体交流を無料で参加させていただいたことや、池田先生のプレゼン、各自治体の発表など充実した内容であったと思う。学生が乗船していなかったのが残念だが、今後は民間からの参加が増え、若い人も含め産官学の連携でクルーズ振興に向けてのアイデアだしが、一層活発化すればと良いのでは思う。
13. 赤井先生、齊藤先生の細やかなご配慮、臨機の企画発案を頂き、初めてのクルーズ旅行ながら、クルーズ旅の楽しみ方を学ぶことができました。感謝。また、下船への合間の 30 分を有効活用したバスケットボールのご提案など、一人では出来ない楽しみ方をご提案頂けたことは、それまで、対話の機会が無かった方ともご一緒し、共に汗を流すこともできて、とても楽しい体験と思い出になりました。
14. 今回は寄港地 PR 業務も重なっていたため、ほとんどのイベントに参加できなかったが、交流を深めるためにも、船内サービスを知るためにもこうした企画があることは有益と感じる。企画があるからこそ、気軽に参加できた船内イベントもあったと思う。
15. こうした取組は、積極的に参加して楽しんだ者勝ちだと思っているので、こうした企画への参加を促して頂き、大変ありがたかった。早めに LINE グループを作って情報共有して頂いたのが良かった。難しいかもしれないが、LINE グループは、参加が確定した時点くらいで希望者だけでも立ち上げれば、もっと準備段階から情報が共有できて良いかもしれない。
16. プレゼン・パネルディスカッションでの業務に関する議論のみでなく、様々なくだけた話もできたことにより関係性を深めることができた。今後の仕事をしていく中でも情報交換等をしてたりして、自分の地域のみならず全体としてクルーズ振興の促進につなげていきたい。
17. スマートクルーズアカデミーの企画全般としては、他の自治体関係者や、クルーズ関係者の方々と研修を通して交流でき、知識を共有することができる非常に良い機会であると感じた。今後も、定期的の実施してほしい。また、今後、このような研修ができる船が増えていくとありがたい。
18. 船社に対する営業・プロモーションも単独の港・自治体から複数港・複数自治体が連携して行っていくよう形を変えつつある。まだ成長途中のマーケットでもあり、現場レベルでのノウハウの変化も激しいと思われるので、自治体間の横のつながりを含め、ネットワークを拡げられてよかった。また、実際に寄港したクルーズ客へのより良いサービス提供を政策的に進めるには顧客目線の現地現物は必須だと思うので、その点でも大変よい機会をいただいた。
19. LINE のグループへの参加が遅れたため、ほとんど参加できていない。企画にもっと参加できればなおよかった。
20. 普段は会議の場でしかお付き合いの無い港、初めて会う港の担当者とクルーズを通してより深い繋がりが生まれたと思う。また民間からの参加者との話の中では、自治体間の話では出てこないようなアイデアなどがあり、とても参考になった。勝手にフォーマルナイトは、区間乗船でフォーマルナイトが無いお客様同士でも行えば、もっと楽しめるのではないかとと思う。
21. 正装することでクルーズに乗っているという実感がさらに湧き、船内イベントをより楽しめたので(勝手に)フォーマルナイトの時間を作っていただき感謝である。恒例の写真撮影はロビー中央の高級感溢れる階段にて行われ、自分が参加させていただいていることが嬉しく貴重な思い出となった。各自治体、民間企業の方々の意見も聞くことができ勉強になった。
22. 最終日には少しバスケットを一緒にさせていただいた。一人だと億劫な運動も楽しみながらすることができた。各

自治体の方とも交流することができ、意見交換の時間を作ることができ、有意義な時間を過ごすことができた。

23. 勝手にフォーマルナイトやジンナイト、最高でした！
24. 各自治体、民間企業の方と情報交換ができたのはとてもよかった。このようなイベント等を通して客船内での楽しみ方を知ることが出来、クルーズ初心者としてはとても良い経験となった。
25. 参加していない
26. "行政のクルーズ担当者もクルーズ客船に乗船する機会はなかなかないので非常に重要な機会である。他の自治体の担当者との交流を通じ、他港の活動内容、他港と比べたときの自港の取組のレベルなどがわかり非常に参考になる。バスケットボール、勝手にフォーマルナイト、交流会などはプラスアルファの楽しみ方を体験できる企画だった。"
27. 参加していない
28. 参加していない
29. 日中の研修を終えて、夜の勝手にフォーマルナイトや、有料レストランに参加するとう流れは、交流を深める、また、日中の反省点等も共有できる良い構成である。特に夜の船内イベントは一人では参加しずらくても、アカデミーの企画としてあれば、垣根が低くなる。参加していないイベントもライングループで共有していただけるもの良い。
30. "夕方から夜にかけては寄港地観光PRだったため、研修クルーズのイベントには参加できなかった。寄港地観光PR終了後の時間帯で、自治体関係者や研修クルーズ参加者と交流することができ、貴重な機会となった。"
31. 夕方の時間は基本的に寄港地観光PRのため、ブースにはりついている必要があったので、研修クルーズ組のイベントに参加することはできなかったが、夜は個別に交流できたので、貴重なつながりを得ることができて、本当に良かった感じた。
32. 参加していない

"地域活性化のためのクルーズ客船誘致と港湾の役割(港湾関係者の発表や船内での関係者との議論を踏まえて)についての感想(国・自治体政策のあり方など)"

1. 寄港するクルーズ船は着実に増加し、環境および財政の持続性を意識した受け入れ体制の議論が必要となっている。適切にチャージし、お金を循環させながら、住民と共生し、クルーズ船と旅行客を受け入れていくことが大事である。住民も旅行客も WINWIN になる仕組みは、地域によって異なるであろうから、情報を共有し、望ましい受け入れ体制を常に模索していくことが望ましい。
2. 港湾の役割は船が出入りするところ。夜景が楽しめる港になると地元の人も喜ぶと思う。
3. ある程度クルーズが定着してきた日本において、各港は持続可能な誘致の方法について検討する時期に入ってきたのではないか。また、クルーズに関して多くの自治体や港の予算がソフトバジェット化しているとの疑問もある。各自治体、港の競争が、よい資源配分をもたらすためには、自治体間の情報共有が必要であり、そのような場として国の関与がある程度必要であると感じる。クルーズ活性化会議の役割が重要になると思う。
4. "毎回思うことですが、本質的な意味でのネットワークを構築、情報(経験と知恵)の共有ができればさまざまな課題の解決が進みそうな気がします。"
5. バス等は有料化し、コスト制約などで悩むよりも、より魅力を高めること、地元への波及効果(金銭的なものだけでなく)により注力できればと思います。"
6. 各地に寄港していくタイプのクルーズは、各寄港地の滞在時間が良くも悪くも短い(6~8 時間程度) 港から

近い観光スポットを見つけ出し、地元の名物を手早く食べさせる工夫が必要。またそのためになるべく市街地に近い場所に棧橋を作る、バス・タクシーを確保するなどの工夫が必要。また、北九州、舞鶴など海外の寄港地の次の寄港地となりやすい自治体は、入国審査を手短に行えるような施策がのぞましい。

7. 港湾関係者ではない私の意見なので、間違った解釈もあると思いますが、今回の議論などを聞いていて、日本の港の多くが船社に対して譲歩しすぎなのではないかという印象を受けました。船社に対して譲歩することで、他の港よりも優位性が生まれるということはあるのかと思いますが、このまま譲歩ばかりしても港湾としての収益は高まらないもしくはあげられないのではないかと感じました。持続的な港湾運営を行っていくためには、今後収益改革が必要なのではないかと感じました。そのためにも全国の港湾がもっと横のつながりを強くして、日本の港湾として船社と交渉していくべきではないかと思えます。
8. クルーズ船に乗り、乗客の目線を知ることが一番必要と感じた。職場でデスクで考えるには限界がある。今回、実体験を通じてたくさんのことを学んだ。当職場でもクルーズ体験する職員を増やすべく、翌日には乗船レポートを全職員に展開した。また本省版国土交通ドットコムにも掲載。乗船して見えてきたものを大切にクルーズ振興に努めていきたい。
9. クルーズ客船の誘致が地域に与える様々な効果を広く住民にPRする必要がある。そうすることで、港湾の役割の理解や施設の整備にもつながる。そのためには、港湾管理者や観光行政等が主体となり、地域と一体となった取り組みが必要である。
(ア) 地域活性化のためには、寄港地観光を通じた観光消費だけでなく、二次交通、船食品、船用品、各種荷役、給水、給油、廃棄物処理、船舶メンテナンス、発着地での前後泊といったクルーズに関連する産業が日本に根付くことが不可欠だと感じました(釜山で消費されることなく)。
10. "外国人は何気ない日本の雰囲気喜びを感じる(人のいない商店街でも歩いてくれる)ことを知った。
(ア) 自治体と地元の両者が、地域の魅力やツアー内容の工夫点を取りまとめ、双方が納得いく地域活性化の仕組みづくりを検討することが重要であると考え。"
11. 日本は海に囲まれた島国であるがゆえに様々な港が点在しているが、ほとんどの港で倉庫など臨時対応としてクルーズ船を迎えている現状がある。魅力の一環としてターミナル施設の整備を心掛けることも重要であると感じた。大さん橋ターミナルを隣国韓国釜山港と比較してもやはり見劣りしている部分があると感じた
12. 例えば海外のエアライン誘致は、民間が運営する空港が主体で実施しており、航空会社の利益構造や新規就航に何が刺さる施策か、何が嫌がられるかなどの細かい裏事情を理解した上で、到着地の観光にも精通している空港運営会社の社員やその委託先が直接交渉している場合は多い。着岸料、ターミナル使用料、バス料金など自治体の方が交渉されている構図を変えていくなど、まだまだ時間はかかると思うが、港における公民連携と民間への一定の役割分担が必要かと思う。
13. 各寄港地行政の方々、研修参加された行政の皆様、それぞれのお立場で、誘致と港湾開発に尽力されていることを知れてよかった。また、接岸料金やバス料金の徴収に関する意見交換では、日本人の商文化として苦手な"ビジネスとして、貰うべきものは貰う"とのスタンスは重要なポイントであり、行政視点が故の難しさ、悩みであることは理解できた。何より、各地の港湾関係行政の方は、先ず、このクルーズ研修へ参加され、他を知り学ばれることが、振興への一番の近道と感じた。
14. パネルディスカッションでも発言したが、横浜港は船会社から「寄港地」として認識されていないのではとの印象を強く受けた。今回のクルーズでもそう感じる機会があった。よって、横浜港における地域活性化(経済活性化)は他港に比べてハードルが高いと感じる。しかし、横浜港で乗下船する方が多数いることは事実であるため、クルーズフレンドリープログラムなど、活性化の仕掛けをどんどん作っていきたい。
15. 行政には県もあれば市町村もあり、その役割分担は厳密に認識されなければならない。クルーズ船の寄港によ

り活性化する地域はどこなのか。国は特定の地域を管轄しないので、国全体で経済効果・便益が増えれば OK と考えている。県は、県全体に効果のある事業であるかを考えなければならない。港湾管理者としての県の便益は、正直、港湾使用料のみである。本来は、基礎自治体である市町村が、数ある幾つかの地元活性化策との優劣を考え、クルーズ船の寄港を好機と捉えているならば、地元で経済効果を産み落とさせる仕掛け・工夫を本気で考えて、クルーズ船社側に提案していくことになるのだと思う。クルーズ船が寄港していることで満足してしまっていないかを問いたい。地元から喜ばれているか、船社からも喜ばれているか、それが持続可能な取組になっているかを考える必要がある。

16. "港湾は従来、物流を担う施設であり、クルーズ船の利用は近年拡大してきたものであることから、規模が大きく、クルーズ船の寄港数が多い一部の港を除いては、施設等の受入れ態勢や地域との連携が十分とはいえない状況である。
17. クルーズ船の寄港は国際交流の促進や地域経済への波及、港湾の有効活用など様々な側面を有することから、国・地方公共団体においても既存の組織等にとらわれない取組や連携が必要と考える。"
18. クルーズ船の寄港数を増やすだけでなく、いかに地域にお金が落ちる仕組みを作るかが重要であると感じた。船を呼び込むためのインセンティブや、シャトルバスや係船料の減免等も一つの手段ではあるが、今後、長期的にクルーズ船の受け入れを続けていくとなると、いかに地域が利益をあげ、持続可能な事業としていくかということが最も重要であると感じた。
(ア) これまでクルーズの日本市場が拡大しつつある初期段階だったため、船の寄港回数を主な指標として政策立案・実行をしているが、これからはさらに一歩進めて、それが具体的に地域活性化に役立っているかという視点の重要性が高まってくると思う。
19. クルーズ船の誘致の経済効果がどれだけあるのかという問題は抱えているが、にぎわいづくりという点で地域活性化に寄与することは間違いないと感じた。各港でもターミナル等の施設整備が進み、また、それぞれが船社等へのセールスも実施しており、港間競争が激化していくのは否定できないと思うが、連携して取り組んでいる自治体を参考にしながら、新たな誘致の在り方を検討する必要があると感じた。
20. クルーズが入港することで、観光客の増加し、地元への経済効果がある。自治体が誘致を行うにあたってはこれは必ず必要なことだと思う。港によっては船のほうアクセスがよいところもあり、そういう自治体の観光施策としてクルーズは無くてはならないものと感じた。その中で様々な使用料などの問題があり、今後日本のクルーズ人口が増えていく状況の中では、転換期にあると感じる。みなとのにぎわいづくりも重要だが、それだけでは自治体が率先して誘致を行う理由としては今後不十分になり、継続的な誘致、おもてなしができなくなるという危機感を覚える。各自治体で判断するには限界があり、今後、国と協力し、より経済効果の高いクルーズ寄港を目指すことで、寄港地としてさらに充実したものを提供できるようになると考える。
21. クルーズ客船誘致の為に、各港で様々な政策や港の整備が行われており、地域活性化のための客船誘致への意気込みが感じられた。特に、7 隻同時着岸が可能になるという横浜港の受入施設には驚いた。また、10 月より導入予定の市内回遊促進プログラムも参考になった。他油津港の、地元の方々と一緒にあった体験型観光やおもてなしは、リピーター船客の確保につながる素晴らしい取り組みであると感じた。各港によって特色は多様であるが、その土地の伝統的な物産、世界遺産や文化などの歴史あるものという所は共通しており、地元の方と連携し盛り上げていくのが不可欠であると感じた。この度寄港した広島港と北九州港は、広い岸壁での受け入れのため物販や飲食が充実していた。船から港に下りてすぐに寄港地の名産品を味わうことができると特産物の PR にもなり、地域の活性化にもつながると感じた。
22. 各自治体にとってクルーズ船の寄港は経済効果も大きく、誘致に力が入る。しかし、減免や無料のシャトル運行、過度なおもてなしは持続可能なのかという疑問が残る。一部の自治体で減免等行くと、他港にも要求され

ることもあり、ある程度足並みを揃える必要があるのではないかと感じる。港同士が連携し、受け入れをやっていくべきなのではないかと感じた。

23. 岸壁使用料等必要な費用は全ての港がきちんと徴収するなど、まずは統一見解が必要だと思えます。また地域の連携、理解も重要になってくると思います。
24. 地域活性化の為に、積み込み品で日本製品を増やしてもらうのが良いのではないかと。実際現場で積み込み品(コンテナ)の中身を見てみると、海外からきたコンテナをそのまま客船に乗せてることがほとんどだ。日本のものがあるのもほんの僅かである。もし、積み込みをする寄港地がないものがあったとしても、他寄港地が協力して送る事ができれば、各地域はもちろん日本全体として活性化につながるのでは。これを行うには国の協力がないと出来ないと思うので、国がリーダーシップを取って行ってほしい。
25. 参加していない
26. クルーズは、爆買い効果が期待できないとしても、人が動くことで経済活動が生じる効果があると思う。だからと言って無料シャトルバス、港湾使用料減免、おもてなし行事の実施など地元負担で経費の支援を船会社に与える施策にばかり力を注ぐのが妥当かどうかは疑問があり、国、自治体ともそのことをよく考える必要がある。
27. 参加していない
28. 参加していない
29. 各港湾管理者からのプレゼンを拝聴し、発着地または寄港地で様々な課題があることを確認する。とくにパネルディスカッションは各港の状況を並列的に知ることができて、整理がしやすい。寄港に対する経費についてはそれぞれ苦労されていると思うが、その解決法の一つとしてシャトルバスの有料化は今後の議論の対象になるだろう。アジアにおいてクルーズ船の寄港地は圧倒的に日本が多いと聞き、クルーズ会社との協議は各港の連携が非常に重要とあらためて感じる。
30. 各港が、クルーズ船の寄港による、飲食・ショッピングなどの直接的な経済効果や、地域ににぎわいをもたらすというような効果を期待して、ハード・ソフト両面でクルーズ船の受入環境を拡充するための取り組みを進めている中で、その費用対効果の分析が、今後はより求められることになるだろうと思った。
31. 入港料・岸壁使用料について、地方港よりも、横浜や神戸などの大きい港の方が減免などによりとっていないことがあるというのが意外だった。ただ、金額としては実際たいして大きいものではないと思うので、いかに地元で経済効果を落とすかという取り組みを進めていく方が重要だと感じた。
32. クルーズ船の寄港は、直接的な経済効果のみならず、港のにぎわいの創出や市街地が活気づくなどの副次的効果があることから、寄港増に向けた取組を引き続き行っていく必要がある。継続的に実施可能な体制の構築が求められていると感じた。

"クルーズの社会的意義とクルーズ振興の在り方(ニーズの掘り起こしにむけての若い世代からの視点)"

1. クルーズ客船は、日本全体に寄港することができ、地方創生にも繋がる。中国発着は、航路の関係上、西日本に偏るが、日本人のクルーズが拡大すれば、寄港は全国に広がり、日本全体に経済効果も生まれるであろう。金銭的效果だけではなく、人が訪問することで、地域の住民も元気になる。日本人のクルーズには、時間的課題があるが、働き方改革が進めば、いろいろな旅行スタイルが生まれ、クルーズの拡大も期待できる。
2. 社会的意義:クルーズは公海で消費を楽しむので、消費税なしで遊ぶことができる。クルーズ振興: 港湾関係者だけでなく、いろいろな分野の研修をクルーズでやるといいと思う。自治体の初任者研修をクルーズでやる

のはどうだろうか？

3. 若年層を対象とするならば、価格だけではなく、ショートクルーズをどう提案できるか、そしてショートクルーズを体験して、その経験をもとにある程度の期間のクルーズに移行できるかであると思う。
4. 若くないので！
5. abemaTVやyoutubeなど、地上波以外で若者がよく見る動画サイトにクルーズ旅の情報が流れれば、興味を示す若い世代も増えそう。(実際、2019年6月のスプレんティダにはマイラー系のyoutuberが乗船していた)
6. 今回のクルーズではクルーズによる経済効果の大きさを強く感じた。各寄港地での取り組みを聞いたり、水や食糧などの搬入の様子や港で待機するバスやタクシーの多さからそのことを垣間見ることができた。そういった意味でクルーズの社会的意義は大きいのではないかと私は考えている。そして、この流れを止めないために今後も顧客層の拡大を行っていくべきであると私は考える。特に現在あまり拾いきれていない若年層の獲得にもう少し注力すべきではないかと考える。具体的な策としてはカジュアル船のツアーを大学の生協と提携して販売するなどである。若者にもっとクルーズが身近なものであるということをアピールしていくことが何よりの策であると考えている。
7. 余暇の過ごし方として新しい選択肢と考える。ただ、時間に余裕がない世代、(上村先生もおっしゃっていましたが、)長期休暇が取得できない現役世代に浸透させる方法を考えることが課題の一つ。今回乗船されていたシニア世代に負けずに思いっきり楽しむことが大切と感じた。また、誘致といえども、各自治体が「ビジネス」として受け入れることができる環境づくりが必要と感じる。施設整備など支出に対する接岸料など収入、経済効果など。支出に見合うものでなければならぬと思う。次回乗船するときは、食材調達など勉強したい。
8. クルーズは年配層には浸透し始めているが、若い層には馴染みがなく、まだまだ壁が高いものと感じていると思う。船内でも若い人をターゲットにした施設やイベントを積極的に導入すると同時に、広くPRすることも重要である。今後、さらに少子高齢化が進むとはいえ、若い層の取り込み施策も重要であると考えている。また、自治体は単純に寄港したら観光地を巡るではいずれ飽きられるため、+αの付加価値をつける必要があると思う。
9. 所得の低さや休暇が短いことを背景として、カジュアルなショートクルーズがクルーズの裾野を広げると言われていますが、首都圏、関西圏でショートクルーズを造成するためにはカボタージュ規制がネックになり、ニーズがあっても海外船社では対応できない状況となっている等、制度の変更も含めた議論が必要だと考えます。或いは、カジュアルクルーズを提供する邦船社のスタートアップを如何に支援するかという考え方もあるかもしれません。
10. "・上記の通り、何気ない日本の雰囲気外国人は求めているため、他港の成功、失敗事例を情報収集し、各地域でブラッシュアップすることが重要であると考えている。習字や折り紙等の体験は、どの寄港地でも取り入れることが可能であると考えられ、ニーズは何気ない日常に潜在しているようにも感じた(小学生レベルでできる日本の文化体験は外国人にも印象がよいのではないか)。"
11. クルーズ船のイメージは海外の方、もしくは年金暮らしの方というイメージがやはり根付いていると感じた。実際に乗船されている方をみても年配の方か親子3世代など若い人は非常に少なく感じた。クルーズ船を豪華

客船というイメージを払拭する為に、移動の手段の一つなど多角的に宣伝 PR を行うことでニーズが増えたと感じた。

12. 観光立国に向けてのインバウンド獲得や働き方改革による余暇の過ごし方やライフスタイルの変化などに対応する一つのコンテンツとして、クルーズ産業が担う社会的意義は、現在ニッチな国内レジャーであるが故に、まだまだ十分に伸びていく余地があると考え。クルーズ振興に関しては、自治体レベルでの対応ではなく、国レベルでの PR や啓蒙によるアウトバウンドの成長に加え、港湾や観光業等の規制緩和とともに公民連携による民間ノウハウと資金活用が可能になれば発展に繋がると考える。
13. " 今回の旅行、そして、研修プログラムでの学びから、島国でありながら、近年、船旅の文化が希薄な日本であることを実感した。その背景には、高度成長期に根付いた“休みを惜しんで働く文化”があり、唯一の休暇での移動は、“短時間・短期間で実現できる飛行機の旅”が根付いた為かと感じた。現代クルーズは、自分の時間を大切に、現代の若者の価値観とマッチすると感じる。今後の振興に期待したいです。また、舞鶴で下船し京都で一泊して思ったことですが、『舞鶴下船→京都等で観光(泊)→金沢で再乗船』といったオプションがあれば、旅の選択肢としても広がる気がしました。(船社の目的とは外れますが…)"
14. 一度クルーズの楽しさを知ると、リピートする方が多いように思う。よって、入口が最も重要であり、そのためには、もっと「気軽に乗れること」が重要と感じる。金額もさることながら、若い世代が参加してみたいイベントを船内で開催するなど、「乗ってもらう試み」が重要と感じる。
15. これまでの旅行の移動手段といえば自家用車、新幹線、飛行機で、また、移動と目的地でのレクリエーションは別物というのが通常であった。自分も含めてこれが当たり前だったが、これからの世代には、クルーズ船による移動そのものを楽しむ旅が当たり前と捉えられるような認識のされ方を狙う必要がある。また、クルーズ船による旅行が「特別である」「豪華である」といった印象を持たれないような工夫も必要。まずは、修学旅行や研修旅行など、計画的な積立や所属団体の補助が受けられる仕組みの中で、金銭的な負担感を減らしたチャータークルーズによる体験などで、経験者の裾野を広げていくのも良さそう。
16. 一度に大勢の客を呼び込むことができることから、交流人口の拡大や地域経済への波及などに資するが、単発では効果も限られてしまうことから、継続的に呼び込むことが重要と考える。そのためには魅力ある地域づくり、施設や地域の連携等の受入態勢の充実などが求められる。また、フライアンドクルーズやトレインアンドクルーズなど他の交通との組合せによる取組のためには、地域を越えた広域な連携も必要となってくる。
17. 日本国内でのクルーズ旅行のイメージを変えていかなければならないと感じた。若い世代の人たちは、クルーズ旅行は非常にお金がかかる富裕層の娯楽であり、自分には関係ないという古い考えが残っていると思う。大型のカジュアル船が増えてきており、安価で乗れる船も増えているということも PR すること、クルーズに乗れるような長期の休みが取れるような働き方改革を進めていくことが重要であると感じる。
18. 従来の日本型の旅行では、飛行機・鉄道・車が主な移動手段だったが、船という別の手段を用いることで、今までにない観光開発・振興が図られる。また、歩行が困難な高齢者なども含めて新たな消費者の掘り起こしにつながり、観光市場の成長に寄与する可能性が大きい。他方、クルーズには、それなりの日数が必要になるので、まとまった休みが取りやすい環境など社会政策面にネックがあると思う。カポタージュを外すのが理想的

ではあるが、実現は困難ではないかと思う。

19. 私の自治体で言うクルーズ振興は「クルーズ船寄港による地域（経済）振興」であり、いかに誘致するかが目的のため、ニーズの掘り起こしは後回しである。しかし、クルーズが振興し、販売されるツアーが多くなるほど寄港の可能性も高まると感じる。若い世代がクルーズに乗らない理由は金と時間であり、ニーズの掘り起こしには、価格が下がること、若い世代向け低価格プランの創設等が必要になると思う。行政は、クルーズ船寄港やクルーズ振興が地域振興につながる施策を検討する必要があると思う。
20. 若い世代の視点でみるとまだまだクルーズ乗船には壁があると感じる。今回の体験型イベントは主にシニアを対象としたものだと感じるところも多かった。現代の若い世代は海外旅行に行く人も増えており、旅行自体は一般的だと感じる。若い世代が初めてクルーズに乗って、今回のアクティビティを経験すると、やはりクルーズはシニアのものだと感じてしまう人も多いのではないかと感じる。飛行機での旅行より便利なのは感じたが、船内アクティビティのことを考えると、若い世代にはカジュアル船のほうが受け入れやすいのではないかと感じる。
21. クルーズは、日常の喧騒から離れ、時間をゆったり楽しみながら非日常的空間を味わえるという点が魅力であり、移動費・宿泊費・食費等を考慮すると安価な旅行であると再確認した。（荷物移動の心配もなく寝ている間に次の寄港地へ）また、一度に複数の国や地域に行けること、普段行かないような場所にも行けるという点も魅力である。船内では様々な国や地域の方々と国際交流もでき、子どもから大人まで幅広い層が楽しむことができる旅行でもある。寄港地の滞在時間が短いため、気に入った寄港地にはまたゆっくり再訪したいと考える。他、魅力はまだまだ記入しきれないが、これらのクルーズの魅力を生かすべく、カジュアルかつリーズナブルに行けるクルーズもあることの周知や、長期休暇を取りにくい方のためのショートクルーズの増加等を推進していくことができれば、もっとクルーズ市場が広がるのではないかと感じる。
22. クルーズは、陸の孤島と呼ばれるような交通の不便な場所でも寄港することができ、地域観光の発掘にもつながる。日本においてのクルーズは高額で長期というイメージが強い。まずはそのイメージ払拭に努めないと、若い世代には浸透していかない。
23. インフルエンサーなどを利用した効果的な PR の実施が必要だと思います。
24. "最近の客船は多くの人に乗船してもらう為に、安値で販売することも多くなった。多くの人に乘ってもらうには良いかもしれないが、元々乗船していた客層が離れてしまっているように感じる。今回のセレブリティの乗客は客船の常連が多かった為、話を聞いてみたところ、安くなった分客層が落ちた。（会話の中で感じる事があるとのこと。）客同士での楽しみ方が変わった。という意見が多かった。なかには、そのように感じた船にはもう乗りたくないという意見の人もいた。様々な意見を聞いて思ったのは、新規のお客を取り込むのも大事だが、今までの客層も落とすことなく取り込んでいくこともクルーズマーケットの為には大事だと感じた。"
25. 参加していない
26. クルーズは、観光消費による地域活性化が最も期待されることだと考えられるが、食事、宿泊が船内で可能なことから、陸路、空路の観光より経済効果は小さいと言わざるを得ない。しかし、海に面した都市は、陸路、空路に加え海からアクセスできることで観光地としての魅力が非常に高まると感じる。
27. 参加していない

28. 参加していない
29. 少子高齢化による人口減少にむけて、クルーズ船の寄港は交流人口の拡大という効果があり、特に地方の港にとっては地域経済活性化の観点から重要である。そしてクルーズの寄港を活性化させるには、日本人のクルーズ旅客需要も増やしていくことが船社に対するアピールとなる。クルーズは費用が高く、金持ちの道楽である、とう考えは未だ大きいものがあり、カジュアルクルーズの振興によってこの垣根を取り払うことが必要である。クルーズのリピーターが多いということは、一度のればその素晴らしさを知る、ということであり、少なくともクルーズ振興に関わるものは、自らが乗船してその経験をもって、クルーズの誘致やクルーズの受入対応を行うことにより、より具現化な取り組みを行うことができると考える。
30. "・移動+宿泊+食事+ショー鑑賞+プール・ジャグジー+各種イベント・・・これらの費用がすべて含まれることを考えると、非常にリーズナブルだと言えるような商品もあるにもかかわらず、まだまだ広く周知されているとは言えないと感じる。費用以外の先入観(ドレスコード、船酔い等)についても、解消するためのPRが重要。"
31. シャトルバスの有料化などは、地方港である金沢が単独でどうこう言っても変わらないと思うので、国全体の流れに乗っていくしかないと考えている。乗船客による経済効果をいかに地元で落とすかというのが重要なことであると考えている。
32. クルーズ振興の在り方としては、クルーズインバウンドとアウトバウンド、受入側と運行側でそれぞれ良好なバランスを保つことが重要であると考えている。クルーズ振興を図る上では、どちらか一方が疲弊しないよう、継続的に実施可能な体制の構築が必要であると考えている。

"クルーズ全般への感想(失敗談なども)、将来に向けての感想、上記の項目に該当しなかった部分への感想など"

1. クルーズは、新たな旅のスタイルを提供する。自然・住民とともに、日本を元気に出来る旅行スタイルでもある。島国である日本では、特に、いろいろな効果が期待できるだろう。
2. 誕生日をたくさんお祝いしてもらってうれしかったけど、年をとってしまった。たくさん休講したので、補講をするのが大変だ。
3. いくつかの船に乗船させてもらって、それぞれの船の良さを毎回感じる。一般の旅行であれば、行先やホテルなどが売りとなるのは、当たり前のことであるが、クルーズは、「クルーズ」とひとくくりにされることが多い。池田先生のお話にあったように「選択肢に自由度がある」ことをより打ち出していきたいと思った。
4. セレブリティのようなグレードのクルーズは日本人にニーズが高そうなのに、今回は集客に苦慮したと聞いています。一因はやはり日程のような気もするので(日程の長さはカポタージュモ一因)永遠の課題です。
5. "別の機会に旅好きの 70 代女性と席が隣で話すことがあり、クルーズの話の振ると「足が悪いから東京港か横浜港まで行くのが大変」と言われた。羽田空港から飛行機に乗るのは抵抗がないのに、棧橋まで行くのに心

理的な壁があると感じた。別料金を取ってもいいので、主要ターミナル駅からバスを出すなどの工夫が必要。若い人でも大荷物を持って案内もあまり出ていない初めての港湾へ行くのは大変なので、ここが変わるとクルーズ客の層が広がる。(羽田空港から横浜港まで直結のバスを出すなど) 海外では脱プラスチックの流れが急速に進んでいるので、今後の持ち物にはエコバッグと水筒の持参を必須としてはどうか?"

6. 今回のアカデミーは私自身クルーズになれてきたこともあって今まで気が付かなかったことにも気づくことができたアカデミーであった。特に各港湾のお金の流れということが今回はすごく感じられるアカデミーであった。クルーズ船が寄港することで地域にお金流れ込むことは間違いないことではあるが、それが必ずしも港湾や観光地の活性化に結びつききれていないのではないかと疑問思うことが多々あった。今後のクルーズでそのあたりをより深く理解できたらと思う。今後は日本の港湾の状況を知るうえで海外の港湾をもっと調査してみたいと感じた。日本の港湾や観光地がクルーズの恩恵を最大限得るためにはどうすればいいのかを今後考えていきたいと考える。
7. まずは、またクルーズ船に乗船したい。乗船したことで身近に感じ、新たな趣味となりそう。旅行会社へ来年度のパンフレットを取り寄せた。あとはダンスに挑戦できなかったことが失敗。
8. 今回、クルーズ船に乗船できたことで、クルーズは本当に楽しめるレジャーであることを実感できたと同時に、また乗船したいという気持ちになった。今後は日本全体でクルーズ船寄港の増加につなげていくため、港が差別化を図り、各港が競争力を持つことも重要であると考え。
9. "・今回のクルーズでは様々なイベントに参加し、船内及び寄港地で多くの方々との交流することもでき、大変濃密な時間を過ごすことができました。これも幹事の皆さま(先生方、活性化会議の方、寄港地自治体の方々等)のご尽力の賜物だと感謝しております。一方で、クルーズならではのゆったりとリラックスした時間の使い方はあまり実践しませんでしたし、研修価格での参加はもちろん、寄港地でも大変なおもてなしを頂くなど、一般的な旅行者としてのクルーズ乗船とは異なる過ごし方も多かったのではないかと感じております。今回の経験を活かして、次回は自分のお金と時間を使って、クルーズを体験して、その感想を身近な人にも伝えていきたいと考えております。今後は業務だけでなく、プライベートでもクルーズ振興に携わることで、少しずつでも恩返ししていきたいと考えております。最後に、改めまして、研修期間中には大変お世話になり、本当にありがとうございました。"
10. "・弊社の従来事業領域のみならず、CIQ 施設の整備・運営管理を包括的に提案すること等、事業領域の拡大の可能性を感じた。立場の違う方々と交流することができ、様々な観点からクルーズ誘致について考えなければならないと実感した。この縁を大切に、今後も各港の情報収集に努め、日本全体がクルーズで盛り上がるよう、自分自身も微力ながら、貢献したいと感じた。"
11. 今回初めてクルーズ船に乗船することができ、様々な角度からクルーズ船誘致に関わっている方々と交流することができた。今後も更にクルーズ船寄港数を増やして行く為にバスの利用料徴収の有無など様々な議論もあり、有意義に参加することができた。また、乗船するのとならないのではクルーズ船のイメージ、船内の雰囲気など乗船することで感じられるものが多々あった。
12. "・ゆっくり読書するイメージで乗船しましたが、次回は終日クルーズを楽しみたいと思う。港湾の賑わいづくり

に貢献できる客船ターミナルや周辺ホテル、MICE、ライブ、ナイトライフ、医療施設、文教施設、イベントなどの事業成立の可能性に関して研究する必要あり。欧米のクルーズ会社が大きな利益を出している中で、きめ細やかなサービス業に優れている日本企業が飛鳥クラスにとどまり、超大型クルーズ船の所有や経営に参画しないのか、できないのか、リスクも踏まえて理解を深めたい。"

13. 下船港を舞鶴港から金沢港へ変更できないかを試みましたが、申告が舞鶴下船の当日朝だったため、叶いませんでした。もっと早く申告しておけばよかったです。但し、変更できなかった理由として、①釜山(外国)からの帰国であるため、CIQ手続きを伴うこと、②CIQの手続きに伴い、船長が署名した下船名簿を既にCIQへ送付済みであるため、その時点での変更は、『相当の理由がない限り難しい』ものであったこと、など、仕組みを学ぶことができました。
14. クルーズを日本に定着させるためにも、我々港湾サイドが持続可能な仕組みの中で受入を行っていかなくてはならないと強く感じる。そのための費用回収の仕組みを取り入れていく時期に差し掛かっている。我々がしっかりと費用を回収し、質の高いサービスを提供することで、客船の寄港促進を図っていかなければならない。
15. 今回は、ある程度毎日の生活リズムが乱れないようなアクティビティの利用を心がけたが、初めてのクルーズ旅行でもあったので、色々な楽しみ方にもっとチャレンジしても良かったかもしれない。合わせて、有料のサービス利用が少なかったため、次回の乗船時には、非日常を楽しむ意味でも、トータルでこれだけの金額は使ってもしょうがない、という金額を予め決めておき、その範囲内で目一杯遊ぶというのもいいかもしれないと思った。
16. "・今回は乗客の大半が日本人であり、大半のサービスやアナウンスが日本語にも対応していたが、今後様々なクルーズを体験・満喫するためには英語の習得が必須と思った。今回は研修という形で参加したが、次回はぜひプライベートで家族と乗船したい。"
17. 今回クルーズ船に初乗船し、プライベートでも乗ってみたいという気持ちが大きくなった。クルーズ旅行というものが、より身近に感じられるようになったと思う。今後、自分だけでなく、周囲の人たちにもクルーズ旅行の魅力を伝えていけるように努力したいと感じた。
18. 自分が乗船した体験談を家族や同僚に話すと、未体験の船旅を経験してみたいという反応が多いので、どんどんお薦めしていきたい。ただ、現状で太平洋側の地方都市からは乗船可能な場所が限られているので、全国的にインターポーティングが広がればより日本のクルーズ人口が拡大するのではないかと思う。
19. クルーズ乗船はとても有意義であったが、担当になって日が浅いことから、自治体が抱える諸問題についての知識が足りないため議論に積極的に参加できていなかった点は反省したい。何も知らなくても行けば学べるというのは事実であったが、予備知識があればあるほど、自分にとってもっと実のある研修にすることができたように思えた。今回の経験を少しでも施策に反映できるよう努力したい。
20. 今回セレブリティミレニアムでの体験で、お客さんの目線でクルーズを体験することができ、今後の誘致や受入において活用できる点が多くあった。今回はプレミアム船の乗船だったので、次はカジュアル船の体験をぜひしてみたい。その上で、地元からの乗船体験の場を幅広い客層に提供するような努力をしていきたい。
21. 関門海峡大橋通過や各港への入港風景、歓送迎風景など、船上から見る景色は何もかも新鮮で素晴らしい。

った。その中でも朝目覚め、窓の外を見た瞬間の、見渡す限り一面の大海原を航行している光景は、素晴らしく息をのんだ。これまで客室は夜に休むだけなので、内側で充分であると思い込んでいたが、朝日を浴び海を肌で感じるができる、バルコニー付き客室は最高であると実感。忘れられない光景となった。また船上では、穏やかで優雅な時間が流れていて、船客は皆気軽に話し合いお友達のようになっていた。これぞクルーズの醍醐味であり、同じクルーズに乗船した方たちは、まるで一つの集団のような一体感があると感じた。クルーズは人の心を豊かにする。クルーズの楽しさを体感できたので、本研修で学んだこと・知ったことを活かし、今後も一人でも多くの方にクルーズの魅力を伝えていきたいと強く感じた。そしてまた船上からあの朝日を見るため！将来夜中にダンスを踊り楽しむという幸せな時間の使い方ができるよう！現実社会でコツコツ頑張らなければ！と思う。

22. 2泊3日という短い時間ではあったが濃密な時間を過ごすことができた。短い時間であまり施設を巡ることができなかつたため、もっと計画的に行動すればよかったと後悔した。
23. 乗船してみて初めて感じる事が沢山ありました。お見送りイベントの感動、有難みなど。
24. 今回のクルーズでは、多くの事を経験・学ぶことが出来た。仕事以外でも、船上での楽しみ方を知ることが出来て有意義な時間を過ごせた。ここで得たことを今後客船を受け入れる側として実際に活かしていきたいと思う。
25. 回答無し
26. ホテルのような船で広海を移動し、船内でいろいろな料理が食べられ、くるろいんだり楽しんだりする施設が利用でき、他の乗客やクルーと交流するなど、クルーズは狭い座席での移動が基本の他の旅行とは性格が大きく異なり、同じ旅行でも別のもので考えたほうがよいと思う。日本での普及はまだまだであるがレジャーを考えるときの一般的な選択肢となればよいと思う。
27. 港湾担当者としては、外国船の日本周遊クルーズで、乗客もほぼ日本人という珍しいクルーズで、船内の乗客の様子や、船内での寄港地観光 PR、港でのおもてなし対応など、今後の業務の参考になるところが多いクルーズであった。
28. 今回のクルーズでは車いす利用のお客様が数組あり、また歩行が不自由な方も見受けられた。今後も、高齢者や身障者が安心してクルーズを楽しんでいただけるよう、船内でのバリアフリー化、乗降時の対応などがすすみ、安心安全なクルーズの旅で幅広いお客様が增えることに期待する。
29. (狭い範囲で恐縮ですが)クルーズを誘致する、受け入れる側の担当として、乗船、下船を以下にスムーズにさせることが、寄港地に与える印象を大きく左右させると感じた。そのための経費については、多少、クルーズ旅客に負担させたとしても、その負担に対する考え方は、旅客側、受入側で異なるということが乗船して分かった。また、その課題がある中で、乗船下船のオペレーションに大きく関与する CIQ を担当する職員も是非、この研修の一員に加わっていただき、関係者全員でこの課題解決に取り組んでいければと感じている。
30. ・今回の乗船では、ジムやイベントなどアクティブに楽しむことができた。次の機会があれば、ジャグジーやチェアでゆったりと過ごし、時間や日常の気忙しさを忘れてのんびりと過ごすのもいいかもしれない。研修クルーズの皆さんとご一緒させていただく際には、新たな出会いがあるというだけではなく、会議等で会うだけ

ではなかなか生まれない突っ込んだつながりができるということが、大変貴重で、ありがたいと感じている。今後、そうして生まれた関係を活かし、情報共有・連携にとどまらず、クルーズ全体の振興につながるような協力関係の構築・強化を図っていければ、と思う。”

31. スマートクルーズアカデミーとして乗船させていただくことで一番ありがたいのは、他の自治体や民間団体、教授らとの交流の機会を与えてもらえることであり、今後の業務において、ひいては長い県庁生活において、必ずどこかで活かせる大きな財産になると感じている。
32. クルーズ船に初めて乗船したが、とても貴重な体験をすることができた。一乗船客としてクルーズ旅行を楽しむことが出来た。これがクルーズ船が違えばサービスや食事内容も変わり、またクルーズ船乗船時期によっては寄港地やテーマも異なってくるということを考えると、色々なクルーズ船に乗ってみたいという気持ちになった。